

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和5年度事業分)

令和6年 11月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～26
(3)	学校関係事業	26～40
(4)	給食センター事業	74～78

社会教育課

(5)	社会教育事業	40～45、57～60
(6)	芸術・文化事業	45～49、51～56
(7)	図書館事業	49～51
(8)	文化財事業	60～69
(9)	社会体育事業	56. 57、69～74、78～85
IV	学識経験者の意見	86
V	参考資料	91
	■令和5年度福崎町教育の努力目標	92
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	97

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和5年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとし、

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」に努めました。今後も少子高齢化や共生社会に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせるまちづくりの推進に努めました。

1次評価：A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	1.児童福祉総務費	1,096,795,000 ^円	1,079,653,388 ^円	17,141,612 ^円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金や就学援助金を支給したほか、母子・父子家庭にも就学援助金を支給しました。また、赤ちゃん誕生祝記念品として絵本等を贈呈しました。

子ども子育て支援事業では、福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、小学生以下の子どもがいる家庭を対象にアンケート調査を実施しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実 包括的・継続的な相談支援体制の構築
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進	経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続

事業名/子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆ 取組内容	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画」策定に向けて、町内在住の小学生以下の子どもがいる家庭を対象にアンケート調査を実施しました。アンケート調査の内容に関しては、福崎町子ども・子育て会議を開催し協議を行いました。

幼児教育・保育に係る公定価格の改定に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

病気やけがで集団生活ができない児童と保護者への支援を行うため、神崎郡3町で病児保育事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15人

- ・子どもの保護者 5人
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5人
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5人

○会議開催 1回（令和5年10月31日）

■子ども・子育て支援システム改修等

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ設定委託料 165,000円

○業務委託業者 (株) さくらケーシーエス

■調査業務

○福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務委託 1,837,000円

○業務委託業者 (株) 日本都市計画研究所

■病児保育事業

○実施場所 神崎郡病児病後児保育施設（ケアステーションかんだき2階）

○利用者の状況 延べ20人

○病児保育事業負担金 586,000円

□効果・達成度

福崎町子ども・子育て会議を開催し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」について、進捗状況の確認を行いました。また、第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査を実施し、事業の需要量推計のための基礎データを収集しました。

子ども・子育て支援システムの改修を行うことで、幼児教育・保育に係る適正な予算執行を行いました。

神崎郡3町で病児保育事業を実施し、病児等の保育を行うことで子育て家庭の支援につなげることができました。

□課題・改善

令和6年度に策定予定の第3期子ども・子育て支援事業計画において、アンケート結果を反映していきます。病児保育事業については、引き続き保護者への周知に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,146,000	10,998,633	3,036,380			7,962,253

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	8,570,000 ^円	6,883,020 ^円	1,686,980 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所、私立小規模保育事業所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外私立保育所委託事業、町外小規模保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料等を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所 (単位：円)

施設名	金額
香島保育園	3,169,730
神崎保育園	403,660
白鳥南保育園	1,114,570
計	4,687,960

■町外小規模保育事業所 (単位：円)

施設名	金額
愛の光ナーサリー	2,195,060

□効果・達成度

町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料等の支払を行い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外私立保育所等への適正な予算執行に努めます。

■保育所等年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
たつの市	香島保育園	50	24	0	12	12	0
神河町	神崎保育園	90	3	0	3	0	0
姫路市	白鳥南保育園	60	12	0	0	12	0
加西市	愛の光ナーサリー	12	12	0	12	0	0
合計			51	0	27	24	0

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,570,000	6,883,020	5,738,673		305,250	839,097

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	4.認定こども園費	678,064,000 ^円	667,219,357 ^円	10,844,643 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員及び会計年度任用職員の人件費、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①就学前教育・保育の充実
総◆	取組内容 安心して子育てができる保育サービスの提供 必要な保育教諭数の確保	食育の推進、基本的な生活習慣の確立 就学前教育から学校教育への円滑な接続
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②環境の整備
総◆	取組内容 旧園舎部分の長寿命化整備	年齢構成に対応した園舎の改修
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆	取組内容 保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総◆	取組内容 地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆	取組内容 サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名/認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や職員の計画による園内研修等を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除、樹木の剪定等を行いました。

職員の業務負担の軽減と保護者の利便性の向上を図るため、園内のネットワーク環境等を整備し、保育業務支援システムを導入しました。

◆事業の成果

■園医等報酬

・内科医 793,040円 ・歯科医 601,330円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園名	金額(円)
田原幼児園	1,242,604
八千種幼児園	924,075
福崎幼児園	1,659,746
高岡幼児園	298,100
合計	4,124,525

■委託料関係

区分	金額(円)
清掃委託料	248,710
弁護士委託料	226,458
植木剪定等委託料	483,340
電気設備管理委託料	753,720
特殊建物等定期報告委託料	377,300
警備委託料	554,400
消防設備点検委託料	70,180
電算機器保守委託料	36,300
施設管理委託料	608,526
合計	3,358,934

■ ICT化推進事業関係

内 容	金 額 (円)
ネットワーク回線利用料	167,464
保育業務支援システム利用料	417,780
園内通信ネットワーク等整備工事	5,295,906
端末及び関連備品等購入	10,741,742
合 計	16,622,892

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

園内研修では、職員間で積極的な意見交換を行い、教育・保育の質の向上につながりました。

保育業務支援システムを導入することで、職員の業務の軽減や効率化を図ることができました。また保護者の利便性の向上にもつながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
入所・入園児童数	675	645	662	626	611	730

□課題・改善

低年齢児からの保育ニーズに対応するため、保育教諭の確保に努めます。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園の運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
146,276,000	144,655,024	15,013,892		16,546,037	113,095,095

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、年齢に応じた教育・保育を実施しました。

保護者の多様なニーズに対応するため、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数） (単位：人)

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
319	14	82	4	845	586	1,850

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数） (単位：人)

田 原	姫 学	サルビア	合 計
49	0	93	142

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田原	八千種	福崎	高岡	姫学	サルビア	合計
45	4	13	2	1	45	110

■保育材料代

園名	金額(円)
田原幼稚園	1,337,365
八千種幼稚園	693,572
福崎幼稚園	1,274,280
高岡幼稚園	271,826
合計	3,577,043

■給食材料代

園名	金額(円)
田原幼稚園	2,771,887
八千種幼稚園	1,240,161
福崎幼稚園	2,256,779
高岡幼稚園	448,933
合計	6,717,760

■保育用備品購入費

園名	金額(円)
田原幼稚園	559,630
八千種幼稚園	399,630
福崎幼稚園	543,290
高岡幼稚園	71,885
合計	1,574,435

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 25人

保育料軽減事業補助金 2,257,400円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成することで、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与しました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	R1	R2	R3	R4	R5
延長保育事業（延べ人数）	1,832	1,008	1,328	1,930	1,850
一時預かり事業【一般型】（延べ人数）	77	170	147	190	142
一時預かり事業【幼稚園型】（延べ人数）	895	338	90	145	110

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、保護者にとって利用しやすい環境づくりに努めます。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
田原幼稚園	240	2,264 (36)	63 (0)	379 (12)	550 (12)	1,272 (12)	
八千種幼稚園	87	774 (13)	25 (0)	184 (12)	166 (0)	399 (1)	
福崎幼稚園	183	1,379 (67)	45 (0)	326 (0)	225 (11)	783 (56)	
高岡幼稚園	45	185 (0)	0 (0)	77 (0)	12 (0)	96 (0)	
姫学こども園	75	882 (57)	54 (9)	308 (0)	132 (12)	388 (36)	
サルビアこども園	105	1,280 (169)	53 (4)	311 (61)	252 (36)	664 (68)	
小計	735	6,764 (342)	240 (13)	1,585 (85)	1,337 (71)	3,602 (173)	
姫路市	萩学園	305	72	0	48	0	24
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	175	75	0	27	12	36
	中寺こども園	150	6	0	0	0	6
	青葉台こども園	65	12	0	12	0	0
	豊富台保育園	65	5	0	0	5	0
	すごう保育園	87	2	0	2	0	0
加西市	認定こども園とみた	140	12	0	12	0	0
市川町	屋形こども園	80	20	0	16	0	4
	いちかわ西こども園	90	61	0	37	12	12
	いちかわ東こども園	170	52	0	39	1	12
多可町	あさかこども園	105	12	0	0	0	12
加古川市	孔雀こども園	135	1	0	0	1	0
加東市	泉こども園	90	12	0	0	0	12
	秋津こども園	56	2	0	0	0	2
西脇市	どれみこども園	130	4	0	2	2	0
小計		348	0	195	33	120	
合計		7,112 (342)	240 (13)	1,780 (85)	1,370 (71)	3,722 (173)	

※ () 内は他市町からの受託児で外数

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
23,026,000	22,677,135	1,542,646		4,348,811	16,785,678

事業名／園児送迎バス運行事業**◆事業内容(目的・必要性)**

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る報酬、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

また、園児置き去り防止のため安全装置を設置しました。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田原幼稚園	3
八千種幼稚園	1
福崎幼稚園	1
姫学こども園	1
サルビアこども園	1
合計	7

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつの運行で町内6園を効率的に巡回し、園児の送迎を行っています。今後も園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,246,000	4,983,552	175,000		210,000	4,598,552

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業**◆事業内容(目的・必要性)**

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果**■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)**

	金額
姫学こども園	99,116,250
サルビアこども園	121,168,520
合計	220,284,770

■町内私立認定こども園補助金

(単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	4,336,178	0
パン代補助	27,398	42,689
特別保育等補助金	3,886,450	5,291,532
特別保育料	88,500	267,900
障害児保育補助	588,800	1,766,400
保育体制強化事業補助金	0	1,753,779
感染症対策事業補助金	0	321,398
保育施設等への一時支援金事業補助金	495,000	693,000
給食費等無償化事業補助金	155,550	275,790
合計	9,577,876	10,412,488

■町外私立認定こども園給付費

(単位：円)

	金額
萩学園	4,603,310
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	5,833,905
青葉台こども園	1,423,340
豊富台保育園	857,810
すごう保育園	193,790
認定こども園とみた	1,151,290
屋形こども園	1,815,930
あさかこども園	856,490
孔雀こども園	84,930
泉こども園	965,620
秋津こども園	194,980
どれみこども園	358,380
合計	18,339,775

■町外公立認定こども園給付費

(単位：円)

	金額
中寺こども園	248,640
いちかわ西こども園	4,688,500
いちかわ東こども園	2,867,350
合計	7,804,490

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
274,408,000	266,419,399	187,154,774		356,400	78,908,225

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	5. 子育て支援施設費	22,213,000 円	21,315,261 円	897,739 円

核家族化や少子化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家庭や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費及び事務費等です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実
II 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
子育て支援事業参加者数	16,673	8,918	8,889	7,928	9,001	21,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報誌、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て中の親子が集える場として開放し、子育ての孤立化や負担感の軽減を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど	すきっぷひろば	その他の事業	合計
2,702人	355人	241人	3,298人

■子育て相談件数 424件

■地域支援活動（すきっぷひろば）

親子でふれあうあそびのひろばを実施しました。

実施月	実施場所
5月～7月	図書館（3回）、文化センター（3回）、八千種研修センター（3回）
10月～12月	保健センター（3回）、文化センター（3回）、八千種研修センター（3回）

■その他の事業

実施月	事業内容
6月	個別相談日
9月	音楽であそぼう、個別相談日
10月	子育て講座「性教育の話」
12月	子育て講座「離乳食の話」
1月	むかしあそび
2月	個別相談日
3月	子育て講座「コンサート」

□効果・達成度

保健センターとの連絡を密にし、4か月健診時に事業の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。

専門の相談員による個別相談日を年3回設定し、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点として関係機関と連携をとりながら、子育て中の親子が気軽に集い、語り合い、交流できる環境づくりに努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,649,000	6,296,270	3,449,986			2,846,284

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供しました。

「子育て講座」では、乳幼児期の子育てについての講演会等を開催しました。また、月に1回専門相談員による子育て相談を実施しました。子育てグループ活動では、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば	子育てグループ活動	その他の事業	合計
2,327人	874人	264人	3,465人

■子育て相談件数 45件

■子育てグループ

- ・3グループ43組94人の親子が参加
- ・グループごとに年間15回活動を実施

■その他の事業

実施月	事業内容
6月	子育て講座「子どもにわらべうた、絵本を」
7月	子育て講座「人形劇」
10月	子育て講座「親子うんどうあそび」
事業名	実施状況
0歳児（乳児）の会	10月から毎月1回 年6回

□効果・達成度

43組の子育て中の親子が年間15回の活動に参加され、季節ごとのあそびやおもちゃづくり等を通して、親子のふれあいの場を提供するとともに、親同士の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も、子育て中の親子が集い、育ちあうなかまづくりの育成支援を行うとともに、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,229,000	2,920,250	1,415,994			1,504,256

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供し、子育て講座の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的実施しました。また、家族で参加する機会を設け、父親の積極的な子育て参加を促しました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば	製作あそび	その他の事業	合計
1,632人	221人	385人	2,238人

■子育て相談件数 82件

■製作あそび

事業名	内容	実施日
作って遊ぼう	親子での製作活動	第3木曜日 年10回

■その他の事業

実施月	事業内容
4月	みんなでおさんぽ
5月	子育て講座「トイレトレーニングの話」
6月	おもちゃ作り
7月	ちょきちょきぺったん！（「きんぎょがにげた」の製作）
8月	家族で楽しむ川遊び
9月	子育て講座「親子ヨガ」
10月	いもほり
12月	ちょきちょきぺったん！（クリスマスの製作）
1月	子育て講座「親子体育あそび」
2月	牛乳パックのいす作り
3月	成長の記録ノート作り

□効果・達成度

各月の実施事業に多くの子育て親子の参加があり、知識や情報の提供ができました。家族参加の事業では、母親だけでなく、父親や祖父母の参加もありました。

□課題・改善

今後も、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切に、父親の積極的な子育て参加を促していき、「子どもの育ち」を支援していきます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,440,000	2,242,723	1,148,000			1,094,723

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	6.学童保育費	28,624,000 ^円	27,263,771 ^円	1,360,229 ^円

共働き家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、「福崎西部学童保育園」と「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。放課後子ども教室では、地域の大人との交流を通じ、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総 創 ◆ 取 組 内 容	学童保育や放課後子ども教室の更なる充実	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
学童保育利用者数	292	222	275	283	304	350

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。放課後児童支援員認定資格研修等への参加により指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	53(46)	65(48)
5月	47	56
6月	47	56
7月	54(61)	65(65)
8月	(62)	(77)
9月	50	56
10月	43	55
11月	45	50
12月	42(35)	52(38)
1月	40	49
2月	41	48
3月	43(39)	49(46)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えるとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12,759,000	12,381,364	2,518,185		4,220,000	5,643,179

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校体育館の北側にある福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。また、試験的に八千種小学校の教室でも学童保育を実施しました。

放課後児童支援員認定資格研修等への参加により指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数 (単位：人)

	東部学童保育専用施設		八千種小学校教室	
	平均利用者数	最大利用者数	平均利用者数	最大利用者数
4月	71(73)	88(78)		
5月	71	86		
6月	68	82		
7月	71(76)	86(86)		
8月	(68)	(80)	(11)	(19)
9月	65	78	3	6
10月	59	74	4	6
11月	67	78	4	6
12月	57(52)	74(56)	(9)	(11)
1月	63	77		
2月	62	70		
3月	58(59)	69(69)	(10)	(11)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えるとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
15,398,000	14,530,959	3,728,401		5,648,500	5,154,058

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をし、地域における子どもの居場所づくりに努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	15
6月	12
7月	12
8月	—
9月	11
10月	12
11月	11
12月	11
1月	12
2月	12
3月	12
計	120

□効果・達成度

指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子どもの居場所づくりにつながりました。
また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
203,000	154,232	103,000			51,232

事業名／八千種放課後子ども教室事業**◆事業内容(目的・必要性)**

八千種小学校の1年生を対象に、八千種小学校の教室において5月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や折り紙などの活動をしなが、他の学年の児童の下校時刻と合わせることで、帰宅時の安全を確保するとともに地域における子どもの居場所づくりに努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	19
6月	19
7月	18
8月	—
9月	19
10月	19
11月	19
12月	19
1月	19
2月	19
3月	19
計	189

□効果・達成度

他学年の児童の下校時刻に合わせて帰宅することで、低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子どもの居場所づくりにつながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
264,000	197,216	130,000			67,216

9. 教育費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「「志」をみんなで育む 福崎の教育 ～仲間とともに心に「灯」をともす 学校教育、町民みんなの学びたいことが学べる 社会教育」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことを踏まえ、適切な感染防止対策を取りながら各種事業を展開しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆ 取組内容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識、豊かな人間性)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取組内容	人権教育の推進、人権意識の高揚	地域交流、郷土愛育成
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆ 取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

1次評価：A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,246,000 ^円	1,105,984 ^円	140,016 ^円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、教育行政の基本方針や重要事項を審議し、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応しました。きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について協議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・ 条例、規則等の制定、改廃に関すること 8件
- ・ 教育関係予算に関すること 1件
- ・ その他協議事項について 3件
- ・ その他報告・連絡事項について 94件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生主任児童委員との意見交換会を実施するとともに、学校訪問や学校行事の視察、各種研修会へ参加しました。

◆事業の成果

不登校の現状とその対応、生徒指導・生徒理解に対する取組等、教育諸課題並びに情勢をより早く察知し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、協議検討を重ねました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,246,000	1,105,984				1,105,984

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
1. 教育総務費	2. 事務局費	89,545,000 ^円	89,172,647 ^円	372,353 ^円

教育長、職員及び会計年度任用職員に係る人件費、心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期に対応するとともに、ICT支援員を配置し、学校でのICT活用を支援しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。学力向上委員会では、学力向上に取り組みました。

学齢簿の編製業務等に係る基幹系業務システムクラウド利用料として、4,453,680円を支払いました。

■福崎西中学校における損害賠償請求事件

平成30年3月26日に提起された訴訟は、令和3年12月13日に原告らの請求をいずれも棄却するとの一審判決、令和4年6月29日に原告らの控訴をいずれも棄却するとの二審判決、令和5年3月8日に原告らの上告を棄却するとの最高裁判所の上告棄却決定が出たことで、全面勝訴（全部棄却）が確定しましたので、弁護士費用等5,542,220円を支払いました。

■業務委託料

業務名	箇所	内容	金額(円)	受託者
ネットワークリスクアセスメント調査業務委託	学校及び教育委員会	ネットワーク状況、セキュリティに係る調査業務	1,097,800	(一社)日本管理者支援機構
学校施設等長寿命化計画見直し業務委託	町内6校	学校施設等長寿命化計画見直しに係る調査委託	299,200	ゴトー・ラボ
計			1,397,000	

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
20,911,000	20,773,451	2,075,000			18,698,451

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		福 崎 西 中		福 崎 東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
胃腸レントゲン	4	14,960	2	7,480	5	18,700	3	11,220	2	7,480	3	11,220	71,060
心電図	17	22,440	12	15,840	26	34,320	8	10,560	14	18,480	14	18,480	120,120
血液	17	42,075	12	29,700	26	64,350	8	19,800	14	34,650	14	34,650	225,225
HbA1c	17	7,480	12	5,280	26	11,440	8	3,520	14	6,160	14	6,160	40,040
胸部撮影	16	22,880	12	17,160	25	35,750	8	11,440	14	20,020	14	20,020	127,270
眼底	17	20,570	12	14,520	26	31,460	8	9,680	14	16,940	14	16,940	110,110
尿検査	17	1,870	11	1,210	26	2,860	8	880	14	1,540	13	1,430	9,790
診察	17	11,220	12	7,920	26	17,160	8	5,280	14	9,240	14	9,240	60,060
聴力	17	1,870	12	1,320	26	2,860	8	880	14	1,540	14	1,540	10,010
大腸がん	14	14,630	12	12,540	21	21,945	8	8,360	11	11,495	13	13,585	82,555
P S A	2	3,520	0	0	2	3,520	2	3,520	0	0	1	1,760	12,320
腹 囲	9	2,475	6	1,650	10	2,750	4	1,100	2	550	4	1,100	9,625
計	165,990		114,620		247,115		86,240		128,095		136,125		878,185

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八千種小		福 崎 西 中		福 崎 東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
心臓検査	55	117,150	3	6,390	78	166,140	19	40,470	96	204,480	92	195,960	730,590
尿 検 査	379	37,521	43	4,257	470	46,530	119	11,781	246	24,354	289	28,611	153,054
計	154,671		10,647		212,670		52,251		228,834		224,571		883,644

■ストレスチェック委託料 14,487円

労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、公立学校共済組合員145人、公立学校共済組合員以外の者1人がストレスチェック（オンライン診断）を受けました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,994,000	1,990,262				1,990,262

事業名／学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位：円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	兵庫リレーカーニバル	33,262	67,136
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	15,512	
	兵庫県小学生陸上競技大会	18,362	
田原小	兵庫リレーカーニバル	7,352	42,106
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	23,002	
	兵庫県小学生陸上競技大会	11,752	
八千種小	兵庫リレーカーニバル	3,262	15,186
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	7,062	
	兵庫県小学生陸上競技大会	4,862	
福崎西中	中播地区中学校総合体育大会	640,550	1,595,270
	神崎郡中学校親善大会	176,000	
	中播地区中学校新人大会	645,400	
	中播地区中学校駅伝大会	62,700	
	NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会	50,560	
	兵庫県合唱コンクール	13,040	
	理科・数学甲子園ジュニア 2023	7,020	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	1,242,649	2,427,769
	兵庫県中学校総合体育大会	195,100	
	神崎郡中学校親善大会	115,260	
	中播地区中学校新人大会	582,800	
	兵庫県合唱コンクール	70,560	
	全国中学校総合体育大会	40,180	
	兵庫県中学校新人大会	181,220	
計			4,147,467

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,656,000	5,589,032			677,350	4,911,682

事業名／国際教育推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み	
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進	
総	◆ 取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	未来の国際化を担う人材の育成
I 地域づくり・行政	3 国際化	②国際交流の推進	
総	◆ 取組内容	国際交流に関する情報の提供	「日本語サロン」など交流の機会づくり、支援・拡充

◆事業内容(目的・必要性)

小中学校において、英語担当教員が行う授業の補助や言語活動における児童生徒に対する指導の補助として、外国語指導助手（ALT）を任用し、外国語国際理解教育を展開しました。

◆事業の成果

ALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育を充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□課題・改善

ALT等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,874,000	9,833,682				9,833,682

1次評価：A

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額
2. 小学校費	1. 学校管理費	669,765,000 ^円	392,978,691 ^円	207,200,000 ^円	69,586,309 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。学校生活は、5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことを踏まえ、適切な感染防止対策を取りながら教育活動を継続しました。

事業名／小学校管理事業【令和4年度からの繰越を含む】、小学校枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取 組 内 容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取 組 内 容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

各学校が新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら、児童の学習保障への取り組みを実施するために必要な一般備品等を購入しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

また、感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環

境を維持するため、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して換気対策に係る備品を購入しました。

■学校別児童・教員数調べ

R 5. 5. 1 現在 (単位:人)

学校	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等 用務員
福崎小		55	66	64	74	65	60	384	26	2
高岡小		3	10	3	7	7	7	37	8	3
田原小		78	79	77	78	77	82	471	27	3
八千種小		19	15	18	24	23	20	119	10	2
計		155	170	162	183	172	169	1,011	71	10
令和4年度		168	162	182	171	169	203	1,055	70	11

■小学校別児童数の推移

R 5. 5. 1 現在 (単位:人)

学校名	R元	R2	R3	R4	R5
福崎小学校	434	420	409	413	384
高岡小学校	57	49	47	45	37
田原小学校	487	482	481	472	471
八千種小学校	131	139	137	125	119
計	1,109	1,090	1,074	1,055	1,011

■校医等の報酬

内科医 (4人)	2,074,310円	定期健康診断、就学前健康診断他
歯科医 (4人)	1,365,250円	
眼科医 (1人)	690,250円	
耳鼻科医 (1人)	699,700円	
薬剤師 (3人)	340,900円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設等修繕料

(単位:円)

福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
544,025	470,580	394,625	298,485	1,707,715

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
筆 耕 委 託 料		21,120	2,464	25,730	7,392	56,706
立 木 伐 採 委 託 料		110,000	0	509,300	257,000	876,300
遊 具 等 点 検 委 託 料		55,000	69,300	174,900	0	299,200
植 木 剪 定 等 委 託 料		110,000	113,080	219,890	170,610	613,580
清 掃 委 託 料		165,000	33,000	77,000	123,200	398,200
警 備 委 託 料		277,200	277,200	277,200	277,200	1,108,800
電 気 設 備 管 理 委 託 料		204,600	118,800	237,600	188,760	749,760
貯 水 槽 管 理 委 託 料		57,200	74,800	97,900	75,900	305,800
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		60,500	66,000	66,000	66,000	258,500
消 防 設 備 点 検 委 託 料		34,595	34,595	34,595	34,595	138,380
プ ー ル 循 環 装 置 点 検 委 託 料		33,000	33,000	33,000	33,000	132,000
エ レ ー タ ー 点 検 委 託 料		580,800	—	—	—	580,800
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		391,160	391,160	391,270	391,160	1,564,750
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		87,252	46,200	87,120	36,300	256,872
小 学 校 体 験 活 動 事 業 委 託 料		1,236,771	260,820	1,510,830	509,508	3,517,929
害 虫 駆 除 委 託 料		13,200	0	0	0	13,200
ド メ イ ン 管 理 委 託 料		1,100	1,100	1,100	1,100	4,400
計		3,438,498	1,521,519	3,743,435	2,171,725	10,875,177

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、さまざまな体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業です。令和5年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生171人が4泊5日（11/20～11/24）の日程で行い、自然観察、昼食作り、制作活動等充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	3,645,180円
ソフトウェアライセンス等使用料	3,597,000円
福崎小学校敷地借上料（638.28坪）	1,320,610円

■備品購入関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、福崎小学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一 般 備 品		418,000	336,150	979,165	309,720	363,220	2,406,255
教 材 備 品		604,065	270,490	838,120	353,204	1,561,550	3,627,429
図 書 購 入 費		222,739	149,809	100,155	157,025	—	629,728
計		1,244,804	756,449	1,917,440	819,949	1,924,770	6,663,412

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円
 〃 （田植え） 1人150円 （稲刈り） 1人300円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料 (円)
福崎小	129	129	65	65	66	64	67,950
高岡小	23	23	15	14	—	—	13,350
田原小	79	78	77	77	—	—	58,200
八千種小	15	15	23	23	—	—	14,850
計	246	245	180	179	66	64	154,350

■授業目的公衆送信補償金

ICTを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として129,954円を支出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策

備品購入（空気清浄機、網戸） 2,095,492円

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

新型コロナウイルス感染症等、小学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

また、令和6年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
114,990,000	109,574,200	4,499,569			105,074,631

事業名／小学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆	取組内容	計画的な学校施設の長寿命化

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設修繕料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	多目的トイレ屋根防水シート張替	297,000	3,249,301
	エレベータ主ロープ等交換	497,761	
	プールろ過装置洗浄水排水管バルブ取替等	227,700	
	体育館LED照明器具取替	341,440	
	エレベータ機械室窓枠等補修	198,000	
	南校舎3階庇補修	143,000	
	高架水槽器具修理	60,500	
	消火栓ボックス修繕	132,000	
	北校舎西通路修繕	297,000	
	運動場ブランコ修繕	807,400	
	体育館南面窓枠修繕	247,500	
高岡小	運動場ワイヤレスアンテナ移設	88,000	1,105,005
	運動場西側縦排水溝改修	264,000	
	消火栓配管補修	411,400	
	プール漏電ブレーカ取替等	56,430	
	会議室カーペット張替	285,175	
田原小	プール量水器取替	68,200	367,400
	給食室シャッター電動化修繕	299,200	
八千種小	受水槽天板塗装	88,000	781,000
	チャイム設備更新	297,000	
	配膳室(3階)長尺シート張替	143,000	
	廊下天井ルーバー修理	154,000	
	教室出入口扉修繕	99,000	
合 計			5,502,706

■業務委託料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎小	高架水槽給水設備修繕 設計業務委託	178,000
田原小	屋外トイレ改修工事 設計業務委託	297,000
八千種小	周囲フェンス等設置工事 設計業務委託	298,100
合 計		773,100

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	北校舎西側夜間照明設置	51,700	4,330,700
	プール消火栓取水口前グレーチング設置	253,000	
	高架水槽給水設備改修	4,026,000	
高岡小	配膳室等湿気対策	299,200	882,200
	プール法面防草シート設置	583,000	
田原小	プール配管切替	297,000	6,600,000
	放送設備更新	3,850,000	
	高圧受電設備改修	2,453,000	
八千種小	給食用ダムウォーター更新	3,850,000	4,708,000
	旧体育館南側法面防草シート設置	660,000	
	ホール階段手すり安全対策設置	198,000	
合 計			16,520,900

■備品関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	屋外時計更新	291,500	1,149,500
	電話設備更新	858,000	
八千種小	体育館コードレス電話増設	143,000	410,960
	3階廊下北側網戸設置	267,960	
合 計			1,560,460

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
24,359,000	24,357,166				24,357,166

事業名／小学校施設長寿命化改良事業【令和4年度からの繰越を含む】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、福崎小学校南校舎、高岡小学校並びに八千種小学校のトイレ改修工事を実施しました。改修工事を行うことで、経年劣化による損耗や低下した機能の回復、耐用性、快適性等を確保することができました。

令和6年度に実施する特別教室空調設備等設置工事の実施設計を行うとともに、工事費及び工事監理委託料を繰越明許費として令和6年度に繰り越しました。

◆事業の成果

■業務委託料

(単位：円)

業務名	箇所	内容	金額	受託者
小学校トイレ改修工事監理業務委託	福崎小学校、高岡小学校、八千種小学校	トイレ改修工事に係る工事監理	3,124,000	(株)鷺尾建築設計事務所
特別教室等空調設備設置工事実施設計業務委託	福崎小学校、高岡小学校、田原小学校、八千種小学校	4校の特別教室等空調設備等設置に係る実施設計	5,728,800	(株)環境設計
計			8,852,800	

■工事請負費

(単位：円)

工事名	箇所	内容	金額	請負者
福崎小学校トイレ改修工事	福崎小学校南校舎	改修面積 112 m ²	78,007,600	(株)ハマダ
高岡小学校トイレ改修工事	高岡小学校	改修面積 97 m ²	77,990,000	(株)神名工務店
八千種小学校トイレ改修工事	八千種小学校	改修面積 140 m ²	83,380,000	(株)神名工務店
計			239,377,600	

□効果・達成度

3小学校のトイレ改修工事は、工事を円滑に進めるために、学校・工事関係者との協議を頻繁に実施し、学校生活に支障をきたすことなく工期内に終わることができました。

小学校4校の特別教室他、空調設備等の設置工事に係る実施設計を行い、令和6年度に工事を発注する準備ができました。

□課題・改善

特別教室空調設備等の設置工事についても、学校生活に支障をきたさないよう、安全には十分に配慮して夏休みを中心に施工します。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
518,929,000	248,230,400	41,721,000	200,600,000		5,909,400

事業名／遠野市友好交流事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆ 取組内容	友好都市である遠野市との交流促進	

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度から友好都市提携の教育分野事業として「岩手県遠野市と福崎町の児童交流」を実施しています。令和5年度は第4回目の児童交流を実施しました。

◆事業の成果

8月27日から29日まで、福崎町内小学校6年生15人と引率者5人で民俗学の父・柳田國男の著書『遠野

物語』の舞台となった遠野市を訪れ、遠野市の人々の知恵や工夫・努力を体感し、異なる地域の文化や暮らしぶりに触れました。児童たちは、遠野市の施設、名所を巡り、防災をはじめとする市の取組を深く理解し感動を得ました。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,750,000	1,690,689			300,000	1,390,689

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.小学校費	2.教育振興費	8,623,000 ^円	8,592,202 ^円	30,798 ^円

心身に障がいのある児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総	◆ 取組内容	特別支援教育の充実

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級 (知的①②、自閉症・情緒①②、難聴)

高岡小 1学級 (知的)

田原小 4学級 (知的①②、自閉症・情緒①②)

八千種小 1学級 (自閉症・情緒)

■学校別児童数調 (特別支援学級)

R 5. 5. 1 現在 (単位：人)

校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福崎小学校	0	4	5	7	3	2	21
高岡小学校	0	1	0	0	0	1	2
田原小学校	5	4	1	5	1	9	25
八千種小学校	0	1	0	2	0	3	6
計	5	10	6	14	4	15	54

■備品購入費

(単位：円)

区分	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品	115,170	345,865	124,740	0	585,775
教材備品	236,412	12,705	91,850	97,450	438,417
計	351,582	358,570	216,590	97,450	1,024,192

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	援助人数	金 額(円)
学 用 品	133	1,663,896
修 学 旅 行	23	447,563
新入学学用品	28	1,410,145
給 食 費	129	1,846,088
P T A 会 費	89	210,650
卒業アルバム代等費	13	119,208
計	—	5,697,550

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,623,000	8,592,202	304,000			8,288,202

1次評価：A

(3) 中学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額
3. 中学校費	1. 学校管理費	309,312,000 ^円	93,522,130 ^円	213,800,000 ^円	1,989,870 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。学校生活は、5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことを踏まえ、適切な感染防止対策を取りながら教育活動を継続しました。

事業名／中学校管理事業【令和4年度から繰越を含む】、中学校枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆取組内容	教育環境の向上(情報機器の更新・拡充)	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	道德教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

また、両中学校が適切な感染防止対策を徹底しながら、生徒の学習保障への取り組みを実施するために必要な一般備品等を購入しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するため、

合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

また、感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して換気対策に係る備品を購入しました。

■学校別生徒・教職員数調

R 5 . 5 . 1 現在 (単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計	教 員	事務職・栄養教諭等
福 崎 西 中 学 校	97	72	86	255	23	3
福 崎 東 中 学 校	99	107	88	294	25	2
計	196	179	174	549	48	5
令 和 4 年 度	177	174	183	534	49	5

■中学校別生徒数の推移

R 5 . 5 . 1 現在 (単位：人)

学 校 名	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5
福 崎 西 中 学 校	216	222	242	249	255
福 崎 東 中 学 校	328	303	284	285	294
計	544	525	526	534	549

■校医等の報酬

- 内 科 医 (2 人) 1,009,410円 定期健康診断他
- 歯 科 医 (2 人) 645,310円
- 眼 科 医 (1 人) 355,750円
- 耳 鼻 科 医 (1 人) 363,400円
- 薬 剤 師 (2 人) 97,400円 教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設等修繕料

(単位：円)

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
858,055	655,826	1,513,881

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福崎西中	福崎東中	計
筆 耕 委 託 料		27,520	10,680	38,200
ド メ イ ン 管 理 委 託 料		1,100	1,100	2,200
施 設 等 点 検 委 託 料		574,750	574,750	1,149,500
立 木 伐 採 委 託 料		590,700	—	590,700
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		400,000	600,000	1,000,000
清 掃 委 託 料		59,400	96,800	156,200
警 備 委 託 料		277,200	277,200	554,400
電 気 設 備 管 理 委 託 料		188,760	188,760	377,520
貯 水 槽 管 理 委 託 料		99,000	108,900	207,900
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		33,000	60,500	93,500
消 防 設 備 点 検 委 託 料		39,380	39,380	78,760
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		—	33,000	33,000
植 木 剪 定 等 委 託 料		181,500	338,745	520,245
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		448,800	—	448,800
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		394,625	394,625	789,250
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		86,856	87,252	174,108
計		3,402,591	2,811,692	6,214,283

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料 1,836,780円
 ソフトウェアライセンス等使用料 1,793,000円

■備品購入費関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、福崎東中学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一 般 備 品		742,720	1,031,317	215,710	1,989,747
教 材 備 品		530,750	609,795	815,100	1,955,645
図 書 購 入 費		298,980	299,999	29,161	628,140
計		1,572,450	1,941,111	1,059,971	4,573,532

■授業目的公衆送信補償金

ICTを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として106,722円を支出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策

備品購入（空気清浄機、網戸） 797,720円

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

新型コロナウイルス感染症等、中学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

令和6年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活を送れるよう対応します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
66,616,000	64,294,762	3,011,700			61,283,062

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆取組内容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設修繕料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	両校合計
福崎西中	L P ガス設備修繕	589,490	726,990
	受水槽天板塗装	99,000	
	プール底面亀裂修繕	38,500	
福崎東中	体育館多目的トイレ扉改修	473,000	3,794,318
	体育館LED照明器具取替	498,168	
	高架水槽タンク補修	726,000	
	体育館2階西面壁補修	1,177,000	
	防火扉キャッチロック取替	34,650	
	給水管漏水調査修理	885,500	
計			4,521,308

■業務委託料

福崎東中学校漏水調査

88,000円

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	両校合計
福崎西中	プールろ過装置ろ材入替・設備改修	2,508,000	3,630,000
	職員室空調設備更新	979,000	
	ウォータークーラー給水用配管設置	143,000	
福崎東中	給食用ダムウォーター更新	4,026,000	4,268,000
	テニスコート防音シート設置	242,000	
計			7,898,000

■備品関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額
福崎西中	電話設備更新	693,000
福崎東中	電話設備更新	605,000
計		1,298,000

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,806,000	13,805,308				13,805,308

事業名／中学校施設長寿命化改良事業【令和4年度からの繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、令和6年度に実施する特別教室空調設備等設置工事の実施設計を行うとともに、工事費及び工事監理委託料を繰越明許費として令和6年度に繰り越しました。

◆事業の成果

■業務委託料

業 務 名	箇 所	内 容	金 額 (円)	受 託 者
特別教室等空調設備設置工事実施設計業務委託	福崎西中学校、福崎東中学校	2校の特別教室空調設備等設置に係る実施設計	3,181,200	(株)環境設計

□効果・達成度

中学校2校の特別教室他、空調設備等の設置工事に係る実施設計を行い、令和6年度に工事を発注する準備ができました。

□課題・改善

特別教室空調設備等の設置工事については、学校生活に支障をきたさないよう、安全には十分に配慮して夏休みを中心に施工します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
216,982,000	3,181,200				3,181,200

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中学校費	2. 教育振興費	8,586,000 ^円	8,518,871 ^円	67,129 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業、中学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総◆ 取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級(知的、自閉症・情緒)

東中 3学級(知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別生徒数調(特別支援学級)

R 5. 5. 1 現在(単位:人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計
福崎西中学校	2	2	4	8
福崎東中学校	3	5	4	12
計	5	7	8	20

■備品購入費

(単位:円)

区分 \ 校名	福崎西中学校	福崎東中学校	計
一般備品	459,250	146,498	605,748

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶助内容	援助人数	金額(円)
学用品	77	1,811,009
修学旅行	24	1,216,776
新入学学用品	43	1,421,450
給食費	76	1,259,693
クラブ活動費	33	591,854
生徒会費	61	53,200
P T A 会費	56	193,200
卒業アルバム代等費	18	158,400
英語・漢字検定料費	14	44,900
計	—	6,750,482

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,586,000	8,518,871	353,000			8,165,871

1次評価：B

(4) 社会教育費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	1. 社会教育総務費	54,408,000 ^円	53,023,411 ^円	1,384,589 ^円

生涯学習の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人件費、消耗品費、保険料、電算機器借上料、各種団体負担金等に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆	取 組 内 容 多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	①生涯学習施設の整備・充実
総◆	取 組 内 容 バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総◆	取 組 内 容 積極的な情報の提供	幅広い世代への利用促進
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆	取 組 内 容 誰もが学習できる場と機会の提供	地域社会で生かせるリーダーの養成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆	取 組 内 容 幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	地域の文化振興

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員会の開催などを行いました。また、二十歳のつどいや吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

- ・社会教育委員会 (年2回 7/18、1/26)

社会教育事業の説明や進捗状況の報告、施設の視察等で意見をいただき、今後の事業推進の参考とすることができました。

- ・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会 (11/6)

あすかホールでの合同研修会に参加し、講演を拝聴し社会教育委員の教育力の向上を図りました。

- 二十歳のつどい 1月8日(月・祝) 該当者257人中166人の参加

民法の改正により、令和4年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、これまでど

おりその年度内に20歳になる方を対象に、「成人式」を「二十歳のつどい」と名称を改め、開催しました。二十歳のつどい代表12人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを実行委員が積極的に進めました。式典会場は福崎町エルデホールを使用し、厳粛な雰囲気の中、開催することができました。

- ・第1部 記念式典
- ・第2部 アトラクション（ビンゴゲーム）

■第16回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して賞を贈りました。

- ・小学校低学年の部

川村 陽紀（田原小学校1年生） 作品名「やさいのすてるぶぶんがどうなるかな？」

- ・小学校高学年の部

上阪 優（田原小学校6年生） 作品名「雑草の分類～効果的な除草剤は作れるか～」

- ・中学校の部

廣瀬 和恩（福崎西中学校3年生） 作品名「土の種類で土砂災害の起こりやすさは違うのか」

□効果・達成度

社会教育委員会、二十歳のつどいや吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。二十歳のつどいは大人の仲間入りを果たしたという厳粛な雰囲気の中で開催できました。吉識雅夫科学賞では、各小中学校から合計50作品の提出がありました。作品は、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉識雅夫の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

今後も、社会教育委員と共に地域のニーズを把握し、社会教育の推進を図ります。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,683,000	1,410,414				1,410,414

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
◆ 取 組 内 容	地域ヘルパー、スクールヘルパーとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各2～4人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で1～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（129人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（51人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（140人）	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校（70人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学3～6年生対象

6月から令和6年3月までの土曜日 各校区月1回

会場：各校区県民交流広場

- ・サマースクール 小学4～6年生対象

7月27日（木）・28日（金）・8月1日（火）・2日（水）・4日（金） 文化センター

7月24日（月）～28日（金） 高岡県民交流広場

7月31日（月）・8月1日（火）～4日（金） サルビア会館

7月27日（木）～28日（金）・7月31日（月）～8月2日（水） 八千種県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

10月21日（土）～令和6年3月2日（土）の土曜日

会場：文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援を受けて、子どもたちの安全確保に努め、その中で子どもたちと地域ボランティアがふれあうことができました。また、学校の休業日・土曜日に地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
地域スクールヘルパー登録者数	354	371	359	398	390	470

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者に継続して参加していただけるように、内容を工夫します。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,025,000	858,477	190,000			668,477

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	青少年やその家族などへの相談支援
◆ 取 組 内 容	積極的な非行防止・環境浄化活動	

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会

活動への補助等を行いました。また、人権・青少年健全育成研修会及び人権・青少年健全育成フェスティバルを開催しました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回 7/10、3/1）

青少年健全育成に関する取り組みや現状・課題についての報告を受け、今後の取り組みの参考となる情報共有を図りました。

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布） 6,300枚

■青少年補導委員会活動状況

- ・定例会 11回
- ・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回等）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
街頭補導回数	75回	77回	68回

□効果・達成度

啓発リーフレットの作成や街頭補導などの啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害やインターネットの正しい利用に関する情報などについて啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。

（単位：円）

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,255,000	3,173,835				3,173,835

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

小学校（4校）・中学校（2校）のPTA会員を対象に、各PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級開設事業（小中学校）

報償費	135,069円
委託料	272,914円

□効果・達成度

各学校において、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
480,000	407,983				407,983

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成するための事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロクラブ

年間9回(4月～11月、3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の4か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行う予定でしたが、令和5年度も感染症拡大防止に不安があったため、実施できませんでした。

■ふくさき日本語ボランティアの会(ふくさき日本語サロン)

町内在住・在勤の外国人を対象に、日本語や生活習慣に関する学習を毎月2回、学習者のレベル別にグループ学習を行いました。

□効果・達成度

活動ができない団体もありましたが、“住みよいまちづくり”をめざして、ボランティア活動に熱心に取り組んでいただき、こころ豊かなまちづくり・人づくりや美しい景観・コミュニティづくりが推進できました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
日本語サロン受講者数(年間)	192	88	51	246	236	700
第2期総合戦略アクションプランKPI	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
日本語サロン平均受講者数(1回当たり)	9	4	3	10	10	30

□課題・改善

ふくさき日本語サロンは、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた研修生が戻って来ているため、少しずつ学習者が増えてきています。十分な学習内容を提供できるよう、今後は支援者の増員に

努めます。また、ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
310,000	255,545				255,545

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	2. 公民館費	7,560,000 ^円	7,103,047 ^円	456,953 ^円

町民が主体的に学習したり、芸術文化に触れるための講座や教室を開講し、生涯学習の場の提供を推進するために要した経費で、主な支出は、講師等謝礼、一般備品購入費、各種団体補助金等です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<<章>>		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり		①地域コミュニティ活動への支援
総	◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		①芸術・文化活動の推進
総	◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総	◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	学習成果発表の場の充実（公民館クラブなど）

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行うことを目的としています。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

(令和5年4月1日現在)

登 録 会 場 名	登録クラブ数 (クラブ)	町内会員数 (人)	町外会員数 (人)	活動人数 (人)
文化センター会場	22	229	63	292
八千種研修センター会場	13	114	17	131
地区会場	20	143	58	201
合 計	55	486	138	624

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組み、文化の高揚、研さんの場として施設を利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
水谷 正美	写真クラブ やまざる	写真	「第107回二科展第71回二科会写真部展一般公募」入選
井藤 一永	町立田原小学校1年生	絵画	「第19回全国こども絵画選抜展2023」兵庫県知事賞
鍛示 凌志	町立田原小学校3年生	ピアノ	「第14回日本バッハコンクール全国大会」金賞
篠瀬くらら	町立福崎東中学校3年生	ポスター	「兵庫県暴力団追放モデルポスターコンクール」最優秀賞
兵庫県立福崎高等学校 ギター・マンドリン部	県立福崎高等学校	器楽演奏	「令和5年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール」優秀賞

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加するなど、活発にクラブ活動を行うことができました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,494,000	1,361,904				1,361,904

事業名／老人大学事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいがづくりと社会参加の促進
総◆ 取組内容	活動の場の確保を支援（高齢者の自主的組織）	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的としています。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず学生を募集しました。

神崎学園と福寿学園の2学園制で運営しました。専門講座では、座学と実技を交互に行う「健康科学部」を新たに開講し、園芸（野菜・花き）・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・陶芸・史学・IT（入門編・応用編）・健康科学の全9コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の様々なジャンルの講演等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
神崎学園	112	112	154
福寿学園	175	175	179
合計	287	287	333

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、高齢者の学習の場と交流の機会を提供し、生きがいきづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会による自主的なクラブ活動等も活発に行われました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
老人大学受講者数	318	中止	287	287	333	360

□課題・改善

今後も継続して生きがいきづくりの場の支援を行います。また、受講生のニーズを調査します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,764,000	3,709,861			152,000	3,557,861

事業名／セミナー事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が、こころ豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供することを目的にしています。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち7回公開講座）

学習テーマ：「自分の感情の整え方」「『死ぬときに後悔すること25』より生きるヒントをいただく」「知って得する！公的年金・公的医療保険の知識」「元気で長生きするコツ」「健康朗読のすすめ」「古典文学入門」「紫式部の生涯」「チョコレートの世界へようこそ！」等

□効果・達成度

座学だけでなく、課外学習も実施し、受講生の知識習得や交流のための場を提供することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
セミナー受講者数	174	中止	81	62	81	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
498,000	411,694			80,030	331,664

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

美術展を開催し、優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めることを目的としています。

◆事業の成果

■第41回福崎町美術展

会期：6月9日（金）～6月11日（日）

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員	日 本 画	島 田 直 季
	洋 画	井 上 よ う 子
	書	立 山 艸 雪
	写 真	し み ず い さ を
	彫 塑 ・ 工 芸	石 井 宏 志

美術展応募数・展示数（※令和2年度～3年度は中止）

	令和元年度	令和4年度	令和5年度
応募数（点）	201	178	196
展示数（点）	130	131	132

□効果・達成度

日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。約600人の来場者があり、地域に根をおろした公募美術展として定着しています。

□課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
952,000	869,324				869,324

事業名／文化振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、文化講演会を実施しています。

◆事業の成果

■第48回福崎秋まつり特別公演

町スポーツ協会50周年記念公演を兼ね、町スポーツ協会、町文化協会との共催で実施しました。

日時：10月28日（土）

場所：文化センター大ホール

内容：「中国雑技・川劇－変面－」

入場者数：約560人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、内容を検討します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
852,000	750,264				750,264

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
4. 社会教育費	3. 図書館費	58,306,000 ^円	53,227,600 ^円	4,000,000 ^円	1,078,400 ^円

図書や雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供により、教養や地域研究、レクリエーション等に資することを目的とした図書館の管理・運営に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人件費、電気代、施設修繕料、図書購入費、電算機器借上料等です。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・遮光ルーバーエンコーダ取替修理（286,000円）

□効果・達成度

施設や設備については、定期点検等の実施、点検時指摘箇所の早期修繕により、安全安心な施設管理に努めています。

□課題・改善

開館から15年以上経過し、施設も館内各設備も補修を要する箇所が増えています。それらを早期に見出し、修繕をすることで、施設の耐久性を高める必要があります。定期的な見回り、点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15,157,000	10,696,337			210	10,696,127

事業名／図書館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
創行 ◆ 取 組 内 容	図書館の相互利用促進（播磨圏域連携中枢都市圏）	
II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

◆事業の成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のために行えなかった学校訪問おはなし会を町内各小学校で再開でき、図書館見学とあわせて読書推進に努めました。学校訪問おはなし会の際には、テーマに沿った本の紹介を行うブックトークの時間をこれまでより長めに設け、団体貸出を活用して紹介した本をその後も学校で手に取ることができるようにしたため、本への関心が高まり、その後図書館利用につながることができました。

また人権週間や生活習慣病予防月間といった行事にあわせて特集棚を設けることで意識向上につながりました。

■子ども向け行事

おりがみくらぶ

たなばた会

夏休み工作教室 ねんどdeアイスクリームやさん

図書館おばけやしき

クリスマス準備工作教室

クリスマスコンサート

図書館であそぼ会

絵本読み聞かせ講座（全3回）

フクちゃん読書の日 図書館マイスター講座

■大人向け行事

キャンドルナイト

■読書おもいで帳の利用開始

■ 図書館に関する事業への指定寄附1,000,000円を原資にデジタルサイネージ（277,200円）、絵本書架・掲示板（476,300円）及び図書（246,500円）を購入しました。

■ 図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
令和3年度	45,036	234,643	19,336
令和4年度	44,133	221,404	19,922
令和5年度	47,699	223,787	20,521

□効果・達成度

令和5年度末の蔵書点数は、161,141点となりました。

福崎町子どもの読書推進計画（第2次）の初年度となる令和5年度は、読書おもいで帳を町内全小中学生に配布し、楽しみながら読書習慣を身に付けられる仕組みづくりをしました。これまで来館経験のなかった児童・生徒が、読書おもいで帳をきっかけに利用登録をしてくれたり、保護者とともに継続して図書館を利用し、読書おもいで帳にどれだけ記録できているかを確認して楽しんだり読書推進につながられました。

また館内にデジタルサイネージを設置し、図書館応援隊活動の広報、図書館行事の広報に努めました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
図書館貸出人数	43,451	39,578	45,036	44,133	47,699	50,000

第2期総合戦略アクションプランKPI	第1期実績(H27~R1)	R2	R3	R4	R5	目標(R2~R6)
図書館町外登録者数(累計)	4,437人 (目標:4,200人)	427	806	1,184	1,542	2,000

□課題・改善

小学校5、6年生の国語の教科書に図書館の単元が設けられているため、これまで主に実施していた小学校2年生の図書館見学に加え、今年度から小学校5、6年生を対象にした図書館での調べ学習の方法を学ぶ図書館見学も受け入れ始めました。学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進します。

また子ども向けのイベントとして実施している図書館マイスター講座について、大人の利用者から同様のイベントを大人向きにもしてほしいという要望があるため、今後は大人の利用者向けの図書館見学等行事を増やし、継続した図書館利用につながられるよう努めます。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25,089,000	24,657,754			1,000,000	23,657,754

1次評価: B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	4.文化センター管理費	35,894,000 円	35,140,628 円	753,372 円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は職員及び会計年度任用職員の人件費、

電気代、施設改修工事費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の文化意識の向上を図るため、学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点である文化センターの効率的な管理運営を目的としています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和5年度は、自動ドアエンジン装置更新工事(781,000円)、漏水補修工事(440,000円)、大ホールスクリーン等撤去工事(847,000円)、内装補修工事(540,100円)等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第40号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数					使用料 (円)	使用者数 (人)
	有料 (件)	無料(件)			合計 (件)		
		町関係他	公民館	教委			
令和3年度	309	180	472	407	1,368	914,560	20,003
令和4年度	402	185	582	567	1,736	1,216,210	29,958
令和5年度	411	168	510	524	1,613	1,207,340	28,567

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 23,000円 ・神崎郡連合PTA協議会負担金 38,000円

■補助金

・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

利用頻度や緊急性を考慮しながら適切な補修を行い、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化が進み、抜本的な施設改修が必要となってきました。利用者が高齢化していることもあり、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,483,000	14,016,211			1,207,340	12,808,871

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	5. エルデホール運営費	50,507,000 ^円	50,152,359 ^円	354,641 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。主な支出は職員及び会計年度任用職員の人件費、施設の運営費及び改修・修繕費、自主公演の実施に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用を通して地域住民により高い水準の文化活動の場を提供するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
R3年度	開館日数 296	利用日数(日)	176	143	138	78	100	10
		稼働率(%)	59.46	48.31	46.62	26.35	33.78	3.38
R4年度	開館日数 309	利用日数(日)	189	142	209	130	114	19
		稼働率(%)	61.17	45.95	67.64	42.07	36.89	6.15
R5年度	開館日数 308	利用日数(日)	201	157	164	133	126	26
		稼働率(%)	65.26	50.97	53.25	43.18	40.91	8.44

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
R3年度	1,701,840円	667回	62,095人
R4年度	2,604,020円	840回	55,316人
R5年度	2,739,110円	852回	71,703人

■主な施設及び設備改修・修繕費等

開館から30年が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を進めています。

令和5年度における主な施設及び設備改修・修繕費に係る経費は次のとおりです。

- ・非常用自家発電機 過速度警報 緊急対応業務 93,500円
- ・非常用自家発電装置改修工事 設計業務委託料 297,000円
- ・屋外女子トイレ和便器フラッシュバルブ修理 52,470円
- ・エルデホール公用車 パーツ等修理 15,290円

□効果・達成度

老朽化し、利用に不具合を生じていた設備を一新し、利便性が大きく向上しました。

非常用自家発電機の更新については令和6年度に実施予定です。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器などが多く、安全面や運営面からも更新が必要です。緊急を要する箇所を洗い出し、計画的に修繕や更新を行います。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,030,000	24,683,661			2,739,110	21,944,551

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、地域の参加者が多い事業、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために5回の自主公演事業を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は4,179,600円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
7月22日(土)	エルデホール30周年記念イベント アニソン3(スリー)ライブ 2nd BURNING!!!	320
8月11日(金)	エルデホール 30周年記念イベント 和太鼓演奏会	359
9月17日(日)	エルデホール 30周年記念イベント 福崎名人寄席	351
12月23日(土)	エルデホール30周年記念イベント ほいけんた爆笑ものまねライブ with福崎高校ギター・マンドリン部	360
2月18日(日)	エルデホール 30周年記念イベント 藤巻亮太アコースティックライブ	340
	計	1,730

□効果・達成度

令和5年度は自主事業を5回行いました。ホール30周年にふさわしく、年間集客人数は前年度比116.73%で大幅増となりました。アニソンライブや藤巻亮太アコースティックライブなど有名人による

公演は北海道から九州まで全国からご来場いただきました。和太鼓演奏会は住民企画事業で実施しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
自主公演事業平均入場者数	150	133	290	248	346	300

□課題・改善

自主公演事業平均入場者数は昨年度より大幅に上昇しました。一方、クラシック系の公演はあまりできませんでしたので、今後はそういったホールの果たすべき役割も勘案しつつ、事業を企画します。今後もさまざまな助成制度を活用しながら文化啓発を推進します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,646,000	10,644,138	1,427,328		4,575,312	4,641,498

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	6. 研修センター運営費	7,209,000 ^円	6,749,360 ^円	459,640 ^円

文化センター（中央公民館）の分館で、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている八千種研修センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は、会計年度任用職員の人件費、電気代、図書購入費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、施設の適切な管理・運営を目的にしています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和5年度は、施設の維持補修として、1階男子トイレ小便器補修（84,260円）を実施しました。

■利用状況

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)	貸出図書数(冊)
令和3年度	659 (173)	6,947	132,480	903
令和4年度	642 (108)	7,516	72,130	1,027
令和5年度	708 (157)	7,766	83,770	943

第38回八千種研修センターまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、規模を縮小して、10月21日(土)・22日(日)に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

安全面に考慮した施設改修及び施設の長寿命化・保安管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,724,000	3,279,506			83,770	3,195,736

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	7. 青少年野外活動センター費	5,836,000 ^円	5,287,492 ^円	548,508 ^円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	多彩な学習機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民が自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・管理棟1階女子トイレ漏水修理 28,600円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・食事棟手洗器漏水修理 37,400円 (請負業者：高岡電工(株))

■主な委託料

- ・清掃委託料 181,010円 (請負業者：(有)シー・エス・シー、田口区)
- ・警備委託料 138,600円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 175,560円 (請負業者：黒正電気設備管理事務所)

■利用状況

(単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他(ｼｰﾌ)	合計
令和2年度	3,747	389	706,530	58,560	7,700	146,300	12,950	1,650	67,800	63,120	1,064,610
令和3年度	4,144	428	703,120	50,560	6,600	247,500	4,650	5,300	39,600	53,040	1,110,370
令和4年度	4,615	429	793,870	82,240	7,700	265,100	8,350	5,550	67,200	88,560	1,318,570
令和5年度	6,934	481	1,094,005	134,880	26,400	279,400	17,050	9,350	101,800	98,880	1,761,765

※利用者数は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に利用いただけるよう、今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,836,000	5,287,492			1,761,765	3,525,727

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	8. 人 権 教 育 振 興 費	5,118,000 ^円	4,740,236 ^円	377,764 ^円

日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表わすことが文化として定着している社会をめざしています。人権について、一層理解を深めていただくため、自治会研修会をはじめ、家庭や学校において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく事業の推進を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
総◆ 取 組 内 容	男女共同参画社会の形成に向けた各種施策の推進 チャレンジする女性への支援	関係機関との連携、啓発活動の推進
I 地域づくり・行政	1 参画・協働と透明性の向上	②住民参画による協働のまちづくりの推進
行◆ 取 組 内 容	女性活躍の推進	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
各種委員会等への女性委員登用率	31.3%	31.7%	31.7%	26.1%	25.5%	33.0%

(第6次行政改革実施計画：令和7年度目標 37.0%)

事業名／人権教育振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取 組 内 容	自治会研修会の開催	人権フェスティバルの開催

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の人権意識の高揚を図るため、自治会研修会を実施しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催

- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会
32自治会が実施 啓発DVD視聴・講話 参加者：784人

■福崎町男女共同参画の推進

- ・国の男女共同参画週間にあわせて広報誌掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演会開催
講演：演題「知って得する！ 公的年金・公的医療保険」 参加者：42人
講師 社会保険労務士 九家 知加
- ・ふくさき女性応援ねっと映画上映会開催を後援

■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 231,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 58,000円
- ・神崎郡人権問題対策協議会負担金 173,000円
- ・（公財）人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 769,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円
- ・西人教・神人教指定人権教育実践発表会運営補助金 152,140円
- ・ふくさき女性応援ねっと補助金 200,000円

□効果・達成度

自治会研修会を行うことにより、「相手を正しく知り、お互いを認め合うことが人権課題の解決につながる」ということを学んでいただくことができました。

また、男女共同参画基本計画に基づく事業を実施し、男女共同参画社会の実現に寄与することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
自治会単位研修会への参加者数	960	198	415	771	784	1,300
第2期総合戦略アクションプランKPI	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
女性の働き方セミナー受講者数	13	8	8	4	5	10

□課題・改善

自治会研修会への参加者数は平成30年度以降減少傾向にあるため、引き続き、自治会をはじめ、家庭や学校と連携し、人権教育・啓発活動に努め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを推進します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,442,000	2,237,847				2,237,847

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。地域住民等の人権意識高揚を図るため、人権・青少年健全育成フェスティバルを実施し、小中学校の主張体験発表及び講演を行いました。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

12月2日(土) エルデホール メインホール 参加者：154人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題」
講師：弁護士 仲岡しゅん
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 278,740円
- ・「元気UPじんけん」二十歳のつどい配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「大切なひと」 66,000円

□効果・達成度

人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

あらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続して啓発活動を実施します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,056,000	972,498	210,000			762,498

事業名／人権意識高揚(心の教育)活動委託事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	いじめをなくす人権意識の高揚 豊かな人間性が育まれる教育の推進	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習(インターネットによる人権侵害についての学習等)を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

車いす体験、スマホ・ケータイ教室、人権に関する講演会など各種事業に取り組んでいただきました。身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や清掃ボランティア活動などを通じて、子どもたちの互いの人権を重んじ、「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も多様な人権学習の機会提供に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,620,000	1,529,891				1,529,891

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	35,130,000 ^円	32,771,530 ^円	2,358,470 ^円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な支出は、会計年度任用職員の人件費、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第44回山桃忌の開催に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 総 創	◆ 取 組 内 容	
	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	地域資源の有効活用、魅力発信
V 産業振興	3 観光	①観光資源の発掘・育成・活用
◆ 総 創	◆ 取 組 内 容	
	三木家住宅、旧辻川郵便局などの文化財の新しい活用	
V 産業振興	3 観光	②魅力ある観光の推進
◆ 総 創	◆ 取 組 内 容	
	官民連携による文化と観光のまちづくりを推進	
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
◆ 総	◆ 取 組 内 容	
	辻川山周辺全体を歴史・文化・観光拠点として整備	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

令和4年度に引き続き「神崎タイムス」を取り上げ、広告からわかる当時の福崎の様子や神崎タイムス広告の特徴を紹介し、展示しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月22日～5月31日	企画展「教科書展－理科編－」	1,527人	展示点数 77点
10月28日～12月10日	特別展「神崎タイムスにみる福崎 －広告編－」	1,723人	展示点数 162点
2月17日～3月24日	埋蔵文化財発掘調査速報展 「発掘された福崎2022」	836人	展示点数 31点

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和5年度は、6人の方から民具・文書等605点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数25人

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界隈における柳田國男の足跡めぐりをはじめ、ポンポン船づくりやまが玉づくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「狛犬学ことはじめ－福崎の狛犬を中心に－」

本講座では、福崎の狛犬に使用されている石材や形態を、全国の事例と比較することで、福崎の狛犬の特徴について理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 10,390人（令和4年度8,500人、令和3年度8,533人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,038,000	4,453,819				4,453,819

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆	取 組 内 容	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和5年度は1人の方から『柳田國男ふるさと紀行』点字本1点を寄贈いただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：468,600円（受託業者：㈱工房レストア）

作品6点 「碁を打つ女」「児島高德」「狩」「足柄山」「ひな」「池月」

■講演会

「松岡家の教育力」 11月18日（土）

講師：石井正己 参加者：23人

■入館者数12,546人（令和4年度9,481人、令和3年度9,823人）

□効果・達成度

開館45年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	13,000	12,495	9,823	9,481	12,546	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善やリニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,096,000	6,176,504			1,992,000	4,184,504

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆ 取組内容	名誉町民の顕彰を推進	友好都市である遠野市との交流促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。第44回山桃忌、春季・秋季企画展を実施しました。第10回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「旅行券3万円分」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽、版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■第44回山桃忌

8月5日（土）（8月16日よりWEB配信）

「家族－松岡家からみる父と母－」参加者：100人 視聴者：85人

内容：山桃忌 式典

基調講演「松岡五兄弟が見た両親」柳田國男・松岡家記念館顧問

東京学芸大学名誉教授 石井正己

記念講演「我が家族と親族の肖像と私の歴史散策－過去を思い、現代に問題を投げかける－」

総合研究大学院大学名誉教授 名古屋大学名誉教授 池内了

シンポジウム 「家族を考える～柳田國男を出発点にして～」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：成城大学民俗学研究所元職員 茂木明子

詩人・細胞生物学者 東京大学講師 田中庸介

神戸医療未来大学教授 足立泰紀

8月6日（日）

「伝統話芸「講談」」参加者：77人

内容：「日本の話芸」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学名誉教授

石井正己

「伝統話芸 講談」上演

・宝井梅湯『松岡映丘』 田辺銀冶『源平盛衰記』

■第10回柳田國男検定（初級編、中級編、上級編）

実施日：8月6日（日）

受検者数：初級編15人、中級編10人、上級編10人

合格者数：初級編14人、中級編6人、上級編2人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月8日～6月4日	企画展「松岡映丘画稿展～物語絵の世界～」	2,118人	展示点数 11点
10月7日～12月10日	企画展「松岡操・たけ展～松岡五兄弟を育てた夫婦～」	2,759人	展示点数 38点
10月28日～11月26日	「福崎町子どもふるさと展」	1,426人	展示点数 58点

■教育普及活動

・伊勢大神楽 11月11日（土）演者：伊勢大神楽講社 木村七良太夫組 参加者：147人

・岩田健三郎版画教室 12月3日（日）講師：岩田健三郎 参加者：9人

■第11回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

・小学校低学年の部

尾崎琴（高岡小学校4年生） 作品名「ひいひいおばあちゃんの時代へタイムワープ！」

・小学校高学年の部

家田塔羽（福崎小学校6年生） 作品名「神谷の伝統行事について」

・中学校の部

田畑駿（福崎東中学校2年生） 作品名「福崎町の地名と地形」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和5年度 真柄侑 「戦後農政における展開と人びとの向きあい方ー岩手県紫波郡紫波町片寄漆立の「志和型複合経営」をめぐってー」

黛友明 「伊勢大神楽の支配頭と太夫組織」

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できるわかりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,685,000	3,391,356			28,000	3,363,356

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進	
総 創 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅（主屋）の文化交流活動拠点としての活用	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事が終了し、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開しています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開イベントを実施しました。三木家資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による資料調査を実施しました。また、剥落等が発生していた妻面破風のしっくい修理工事を行いました。

主屋以外の部分の指定管理者による活用が開始されたことにより、三木家住宅内蔵等に保管されていた貴重な資料を適切に保管・管理するとともに、展示も可能な展示兼収蔵施設を令和2年度に三木家住宅の東側に整備し、資料の収蔵を進めるとともに、実際に資料に触ることができる住民向け資料保存ワークショップ等を継続して開催しました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
4月29日(土) ～5月28日(日)	企画展「五月人形展」	—	917
7月8日(土)	手づくり講習会 「三木家de風鈴づくり」	—	77
7月8日(土) ～8月27日(日)	企画展「手づくり風鈴展」	—	748
10月28日(土) ～12月3日(日)	特別展示 「ふすまの中から見る三木家」	(展示点数25点)	1,314
11月11日(土)	手づくり講習会「ツノナス工作」	—	73
11月12日(日)	三木家入門講座⑦ 「襖からのぞき見る江戸本屋の営み」	神戸大学大学院 人文学研究科 石橋 知之	12
2月10日(土) ～3月24日(日)	企画展「雛人形と春の民具展」	—	1,005

■三木家資料保存体験型講座

三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」（6回）

5月6日（土）参加者9人 7月1日（土）参加者9人 9月2日（土）参加者10人
 11月4日（土）参加者6人 1月6日（土）参加者6人 3月2日（土）参加者11人

■画稿等補修委託

委託料：221,100円（受託業者：榊工房レストア）

資料2点 「書啓底簿」「下張り文書裏打ち（藤本煙津画）」

■開館日数・入館者数

開館日数 157日 入館者数 6,579人

■三木家住宅妻面破風しっくい修理工事

さらなる劣化を防ぐため、中塗補修と上塗り、掛瓦の防水処理を行いました。

工事費：704,000円（請負業者：株式会社 神田組）

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。また、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界限への来訪の機会を高め、住民とともに資料整理を行うことで文化財への興味関心を高めました。

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R6)
宿泊者数（三木家住宅、歴史・文化館）	—	546	623	1,820	1,788	2,000

□課題・改善

指定管理者等と連携して、まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。展示兼収蔵施設に収蔵できなかった資料を適切に保管・継承していくための収蔵場所が必要です。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,762,000	5,461,810			925,000	4,536,810

事業名／歴史・文化館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

歴史・文化館の管理にかかる費用です。

◆事業の成果

歴史・文化館の建物共済保険加入及びエレベーター点検、施設の修理を実施しました。

□効果・達成度

歴史・文化館の適正管理に寄与しました。

□課題・改善

今後も施設の適正管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
411,000	404,630				404,630

事業名／辻川界限文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組むとともに、地域の環境美化に努めました。

◆事業の成果

松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入したほか、環境美化の取組として草刈りなどを行いました。

□効果・達成度

辻川界限の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界限の活性化に向けた検討を進める必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,462,000	1,255,228				1,255,228

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	61,464,000 ^円	59,879,443 ^円	1,584,557 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査、文化財保存活用地域計画の推進です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総創 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑地の推進
総 ◆ 取 組 内 容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保護し、活用を図るため、指定文化財の保存継承事業や古墳周辺整備等への補助金交付を行いました。文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。

福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしを進めるため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

■指定古墳周辺整備補助金：5古墳×10,000円

大塚古墳（山崎）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）・東広畑、東新田古墳（北野）・
妙徳山古墳（神積寺）

■指定民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円=180,000円

浄舞（熊野神社・田尻）・浄舞（大歳神社・余田）・追儺（神積寺）・法成就講（高橋）・
獅子舞（桜）・かくしほちょじ（鍛冶屋）

■町指定文化財整備事業補助金

神積寺本堂（補助事業者：神積寺） 床板修理 22,000円
自動火災報知設備設置 1,210,000円

■文化財審議委員会

第1回：令和5年8月22日（火） 第2回：令和6年3月1日（金）

□効果・達成度

町指定文化財整備事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、記念館・歴史民俗資料館において展示や資料整理の指導助言、松岡家に関する資料調査も継続して行い、調査成果は広報誌等で広く町民に発信しました。令和5年度は、松岡操・たけに関する資料収集・分析の成果を企画展で披露しました。また、地域資料の保全、活用のため、調査・整理を継続して行いました。三木家住宅ふすま下張り文書の保存処理や整理作業を住民の方とともに進めるためのワークショップを開催し指導いただき、文化財への関心を高めました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
文化財の指定件数	46	47	47	48	48	47

□課題・改善

地域所在資料を広く地域住民に知ってもらい保存・継承につなげるため、引き続き住民と協働した資料の調査や整理・展示会の企画など継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,437,000	3,328,411			3,460	3,324,951

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

民間開発等に伴う試掘調査を24か所、立会調査を1か所、確認調査を8か所、本調査を2か所で行いました。

また、高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査では、宮ノ前遺跡、観音堂遺跡の調査を実施し、古墳時代から平安時代の竪穴住居や掘立柱建物等の遺構が見つかるなどの成果が得られました。山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘調査も実施し、遺構の有無を確認しました。

埋蔵文化財調査報告書を刊行し、調査成果の公開を行うことができました。

■民間開発等に伴う試掘・立会調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
個人住宅建設に伴う八千種字奥垣内試掘調査ほか24件	—	—	宅地	令和5年4月17日 (1日)	計158.2 m ²

■民間開発等に伴う確認調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
個人住宅新築工事に伴う下々通遺跡確認調査(第3次)ほか7件	平安	散布地	更地	令和5年6月6日 (1日)	計88m ²

■ほ場整備事業に伴う本調査等

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
観音堂遺跡(第4次)	弥生 ～平安	集落	水田	令和5年6月14日～ 10月18日(54日)	1,696 m ²
宮ノ前遺跡(第3次)	古墳 ～近世	集落	水田	令和5年9月6日～ 令和6年3月13日(100日)	3,292 m ²

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。また、観音堂遺跡での現地説明会を行い、調査成果を地元へ発信することができました。

□課題・改善

引き続き、ほ場整備事業や民間開発事業等との円滑な調整を図り、調査を実施していく必要があります。また、地域住民に埋蔵文化財の価値や調査への理解を深めてもらうために、発掘調査の結果を講座や展示会、現地説明会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
57,338,000	56,235,007	50,805,000			5,430,007

事業名／地域文化財総合活用推進事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するための基本的なアクションプランとして、福

崎町文化財保存活用地域計画を令和2年度から3か年で作成し、令和4年7月に文化庁の認定を受けました。令和5年度は令和4年度から令和10年度までの計画期間の前期の最終年度として中間評価を行い、目標の実現に向けた取組を推進しました。

◆事業の成果

■文化財保存活用地域計画協議会

令和6年3月27日(水)

□効果・達成度

福崎町文化財保存活用地域計画協議会において、事業計画の内容や進捗状況の確認等を行い、多くの関係者から意見を得て、前期(令和4年度～5年度)の中間評価を実施しました。定期的な点検と進行管理をすることで、目標の実現に向けた効果的な取組を推進することができました。

□課題・改善

福崎町の文化財をまちづくりに活かしながら、次世代へと伝えていくための計画内容を広く住民に周知するとともに、計画に基づいて文化財の保存・活用を進めます。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
689,000	316,025				316,025

1次評価: B

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5. 保 健 体 育 費	1. 保健体育総務費	20,049,000 円	19,757,533 円	291,467 円

体育館等スポーツ施設の管理等に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人件費、光熱費、施設修繕費、清掃費、機器借上料、各種団体補助金等に要した経費です。

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、世代性別を問わず、多項目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名/保健体育総務一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
総 ◆ 取 組 内 容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上支援
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総 ◆ 取 組 内 容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の実施
IV 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象の

スポーツ大会や講習会等を企画し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため各種研修会に出席しました。

開催日	第1回	4月5日(水)	第2回	7月26日(水)	
	第3回	9月6日(水)	第4回	11月8日(水)	
	・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会		6月10日(土)		神戸市
	・中播磨スポーツ推進委員研究協議会		6月25日(日)		姫路市
	・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会		10月22日(日)		三木市
	・全国スポーツ推進委員研究協議会		11月16日(木)	17日(金)	青森市
	・近畿スポーツ推進委員研究協議会		令和6年2月2日(金)	3日(土)	堺市

■健康推進事業

スポーツ推進委員の知識・技術を活用し、暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

■スポーツ功労賞

多年にわたり福崎町スポーツ協会等の活動に尽力され、福崎町の競技スポーツの振興に大きく貢献された方をスポーツ功労賞審査委員会で審議し、個人1人を表彰しました。

【受賞者】

氏名	所属団体	業績
難波弘一	福崎町スポーツ協会	平成13年から福崎町体育協会(現スポーツ協会)の補充理事として、また平成19年から福崎町柔道協会会長として23年間体育協会に携わり、平成25年から第5代福崎町体育協会会長に就任し、福崎町の競技スポーツ振興に格段の努力を注がれた。また、平成27年から3年間と令和4年度に神崎郡体育協会副会長として、平成30年から4年間、神崎郡体育協会会長として神崎郡のスポーツ振興に寄与された。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人23人及び団体1組を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
吉田弘道	神崎郡陸上競技協会	ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会 走幅跳	出場
三徳晃大	福崎東中学校 3 年生	令和 5 年度全国中学校体育大会 第 50 回全日本中学校陸上競技選手権大会 1500m	出場
安井秀成	四国学院大学香川西高等学校 2 年生	令和 5 年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第 76 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 走幅跳	出場
西澤芭琉	福崎小学校 5 年生	第 47 回兵庫県小学生陸上競技大会 走高跳	第 1 位
小野優奈	飛拳塾 田原小学校 3 年生	第 41 回オープントーナメント全日本空手道選手権大会 2023 小学 3 年生女子	出場
下川楓莉	福崎米山道場 スポーツ少年団 福崎小学校 6 年生	第 11 回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会 極真空手小学 6 年生女子軽量級	出場
志水琉之介	飛拳塾 福崎西中学校 1 年生	第 9 回全日本少年少女空手道選手権大会リアルチャンピオンシップ決勝大会 極真空手中学 1 年生男子 52kg 未満	第 3 位
三輪大翔	少林寺拳法兵庫福崎スポーツ少年団 福崎東中学校 3 年生	第 17 回全国中学生少林寺拳法大会 男子組演武の部	出場
中村 新	少林寺拳法兵庫福崎スポーツ少年団 福崎東中学校 3 年生	第 17 回全国中学生少林寺拳法大会 男子組演武の部	出場
松岡胡菜	姫路商業高等学校 2 年生	2023 年少林寺拳法世界大会 inTokyo, Japan 単独演武	出場
森本雄斗	香寺クラブジュニア 高岡小学校 6 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
志水琉真	香寺クラブジュニア 福崎小学校 6 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
志水勢音	香寺クラブジュニア 福崎小学校 4 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
岩本青空	香寺クラブジュニア 田原小学校 6 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
吉識颯真	香寺クラブジュニア 八千種小学校 6 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
吉識楓馬	香寺クラブジュニア 八千種小学校 4 年生	第 4 回お伊勢さん杯・PRIDE JAPAN 全国選抜学童軟式野球大会	優勝
小嶋駿介	香寺クラブジュニア 福崎小学校 5 年生	第 28 回高野山旗全国学童軟式野球大会	出場
高井壮太	神戸中央リトルシニア 福崎東中学校 3 年生	第 51 回リトルシニア日本選手権大会 中学硬式野球リトルシニア	出場
藤井 陸	兵庫夢前ヤング 福崎西中学校 3 年生	第 31 回ヤングリーグ選手権大会 中学硬式野球ヤングリーグ	出場
牛尾柚月	兵庫夢前ヤング 福崎東中学校 3 年生	第 31 回ヤングリーグ選手権大会 中学硬式野球ヤングリーグ	出場
藤本陽貴	兵庫夢前ヤング 福崎西中学校 3 年生	第 31 回ヤングリーグ選手権大会 中学硬式野球ヤングリーグ	出場
小林凌真	兵庫夢前ヤング 福崎西中学校 3 年生	第 31 回ヤングリーグ選手権大会 中学硬式野球ヤングリーグ	出場
大國隼人	SUN加西 福崎東中学校 1 年生	第 46 回全国 JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 水泳競技男子自由形 200m	出場
神戸医療未来大学軟式野球部		第 46 回全日本大学軟式野球選手権大会	第 3 位

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に成果をあげました。健康セミナーを2回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、スポーツ推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、体育普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,565,000	1,552,350				1,552,350

事業名／町スポーツ協会等育成事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総◆取組内容	各団体が活発に活動できる体制づくりの支援	各団体への施設開放による支援

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町スポーツ協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。各団体とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策前に行っていた活動に努めました。

◆事業の成果

スポーツ協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■福崎町スポーツ協会加盟団体一覧

R 6. 3. 31現在

団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)	団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)
庭 球 協 会	佐伯武彦	21	卓 球 協 会	高松繁樹	18
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	21	バレーボール協会	松山濫久	19
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	20	水 泳 協 会	三輪和幸	20
柔 道 協 会	難波弘一	40	山 の 会 協 会	楠田道廣	33
合 氣 道 協 会	羽室研二	21	ソフトボール協会	三輪一朝	214
ソフトバレーボール協会	米田 泉	42	グラウンドゴルフ協会	尾崎慶三	139
剣 道 協 会	大西崇博	8	ゴ ル フ 協 会	三森真一郎	7
			合 計		623

■福崎町スポーツ協会決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	28,000	加盟協会から @2,000×14	事 業 費	2,045,000	加盟協会助成金 50周年記念 事業 他
補 助 金	1,544,000	町補助金	事 務 費	33,867	事務用品他
繰 越 金	111,563	前年度繰越	基 金 費	0	50周年記念事 業積立金
繰 入 金	650,000	50周年記念 事業			
雑 入	6,104	利息	予 備 費	5,000	慶弔費
合 計	2,339,667		合 計	2,083,867	

収入支出差引額 255,800円(令和6年度へ繰越)

■福崎町スポーツ少年団決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	75,200	加盟団から @1,000×75名 他	登 録 費	67,700	県登録料他
			事 業 費	90,000	大会補助金他
			事 務 費	1,300	郵便料他
補 助 金	105,000	町補助金	会 議 費	0	
繰 越 金	72,881	前年度繰越金	慶 弔 費	0	
雑 入	0		予 備 費	0	
合 計	253,081		合 計	159,000	

収入支出差引額 94,081円(令和6年度へ繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む14協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人々がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,649,000	1,649,000				1,649,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進、子ども会の自主的な活動の充実と町内子ども会相互の連携を目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会を4年ぶりに実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、町少年少女将棋大会を開催しました。郡オセロ大会に参加しました。

◆事業の成果

■町球技大会：6月17日（土） 場所：福崎小学校

部門	優勝	準優勝	3位
ソフトボール	辻川	山崎	西治・西谷
バレーボール	山崎	西治・西谷	辻川

ソフトボール、バレーボールともに3チームのみの出場となりました。

■町少年少女将棋大会：12月3日（日） 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	3人
小学校高学年の部	7人

■郡オセロ大会：9月3日（日） 場所：大河内保健福祉センター

参加者（福崎町からの参加者）

小学校低学年の部	20人
小学校高学年の部	8人

□効果・達成度

各大会を通して子どもたちの精神的な向上を図るとともに、子ども同士の交流を促進することができました。

□課題・改善

子ども会活動が円滑に実施できるよう、啓発等の準備を進めます。

また、今後に向けて多くの子ども会会員が参加できる事業について協議します。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,530,000	1,294,944				1,294,944

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	238,552,000 円	235,691,926 円	2,860,074 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送る

ための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

エネルギー・食糧品価格等の物価高騰の影響を受けた町内の小中学校、認定こども園に通学、通園する子の保護者を支援するため、令和5年9月から令和6年3月まで学校給食費の無償化を実施しました。

給食運営に要した主な支出は、職員及び会計年度任用職員にかかる人件費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等です。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図っています。令和5年度では、令和6年度から令和8年度までの委託業者を決定するため給食共同調理センター業務委託総合評価審査会を開催しました。

夏場の給食配送時には食中毒等の対策として保冷剤を使用しました。

給食の試食会を8回(延人数86人)受入れました。

施設は築後20年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から設備の更新を行いました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和5年度	現年度	47,326,690	47,249,022	0	77,668	99.8
	過年度	1,034,222	449,615	0	584,607	43.5
	計	48,360,912	47,698,637	0	662,275	98.6
令和4年度	現年度	101,834,424	101,342,119	0	492,305	99.5
	過年度	874,231	308,314	0	565,917	35.3
	計	102,708,655	101,650,433	0	1,058,222	99.0

このほか、私立認定こども園から給食事業諸経費納付金(給食にかかる電気代・水道代・消耗品費)として、621,000円を収入しました。

■支出状況

平成15年6月の供用開始から20年が経過し、厨房機器・設備機械等や空調設備について耐用年数や部品供給の観点から修繕、交換または更新を行いました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R 6 . 5 . 31現在)

(単位:円)

学校または施設名	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福 崎 小	8,248,414	183,580	8,240,270	158,159	0	0	8,144	25,421
高 岡 小	1,270,032	80,928	1,237,712	0	0	0	32,320	80,928
田 原 小	9,784,951	90,013	9,780,751	65,613	0	0	4,200	24,400
八 千 種 小	2,884,613	47,634	2,884,613	47,634	0	0	0	0
計	22,188,010	402,155	22,143,346	271,406	0	0	44,664	130,749
西 中	6,534,914	520,269	6,506,710	117,688	0	0	28,204	402,581
東 中	7,327,440	105,350	7,322,640	54,073	0	0	4,800	51,277
計	13,862,354	625,619	13,829,350	171,761	0	0	33,004	453,858
福 崎 幼	1,887,283	0	1,887,283	0	0	0	0	0
高 岡 幼	336,600	0	336,600	0	0	0	0	0
田 原 幼	3,007,099	6,448	3,007,099	6,448	0	0	0	0
八 千 種 幼	1,201,001	0	1,201,001	0	0	0	0	0
計	6,431,983	6,448	6,431,983	6,448	0	0	0	0
給食センター職員	705,579	0	705,579	0	0	0	0	0
私立こども園	4,138,764	0	4,138,764	0	0	0	0	0
計	4,844,343	0	4,844,343	0	0	0	0	0
合計	47,326,690	1,034,222	47,249,022	449,615	0	0	77,668	584,607

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、令和4年度から0.3ポイント増の99.8%、過年度給食費の徴収率は、令和4年度から8.2ポイント増の43.5%となりました。また、現年度・過年度あわせて徴収率は98.6%でした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立、法的措置の実施など、給食費無償化の今こそ徴収率の向上につなげます。厨房機器等の更新も計画的に実施します。

(単位:円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29,186,000	27,742,555		800,000		26,942,555

事業名/給食センター給食事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	食育の一環として地産地消を推進	安全・安心な学校給食の提供

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理

し、安全安心な給食の提供に努めました。主に野菜は地元産を、魚・肉は県内産を優先して使用し、年中行事等に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ精麦やもちむぎ麵を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えました。

栄養教諭が小・中学校を訪問し食育指導を行い、また、給食センターと保健センターで共同して各認定こども園を訪問し食育教室を開催するほか、給食センター施設見学会を実施するなど食育に取り組みました。

1日平均給食供給人員は2,235人で給食延べ人員は、451,250人でした。給食日数は、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間180日、（2号認定土曜日保育無）年間230日、（2号認定土曜日保育有）年間268日、（3号認定）年間268日です。

平成30年度から調理・配送業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図っています。

■ 給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で110,797,854円です。

給食原材料費内訳 (単位：円)

区 分	金 額
副 食 費	68,461,375
米 飯 代	16,665,113
パ ン 代	5,734,937
牛 乳 代	19,936,429
計	110,797,854

■ 地産地消の取り組み

・「福崎町すこやかヘルスプラン」の中の「地産地消の推進」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を55%と定めており、令和5年度の地産地消率は43.4%と令和4年度から2.0ポイント減となりました。主な理由は天候不順や鳥獣被害により収穫量が減り、給食センターへの納品が減ったためと考えます。

・農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロケ」や地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロケ」を令和5年度も給食に提供しました。また、7月には「夏野菜カレー」、12月には「冬野菜のカレースープ」、1月には大根、人参を使用した「かす汁」を提供し、地元産の野菜を中心に使用して地産地消を推進しました。また、地元産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁も提供しました。

・毎月19日の食育の日献立では、地元産野菜の使用率100%をめざしました。もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」や、もちむぎ麵を使用した「かやくもちむぎ麵」や「もちむぎそうめん汁」、「冷やしもちむぎ麵給食」などを提供しました。

□ 効果・達成度

給食にもち麦や地元野菜を積極的に取り入れ、児童・生徒に親しみをもってもらようよう食育指導等でその良さを伝えました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やします。野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に地元産の野菜を増やすよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
197,646,000	196,267,072	56,409,000		48,319,637	91,538,435

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	3. 町民グラウンド 管 理 費	15,767,000 円	15,285,272 円	481,728 円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1，第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1，第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕等を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・ 第1グラウンド 盤内制御機器取替 115,500円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・ 第1グラウンド ネットフェンス修繕工事 297,000円 (請負業者：播州道路施設(株)姫路営業所)
- ・ 第1グラウンド 夜間照明灯修繕工事 235,400円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・ 第2グラウンド 門扉撤去工事 49,500円 (請負業者：高岡電工(株))

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・ 清掃委託料 197,120円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・ 電気設備管理委託料 118,800円 (請負業者：黒正電気設備管理事務所)
- ・ 草刈等委託料 122,415円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター) 他

□効果・達成度

第1グラウンドでは、ネットフェンス修繕工事、夜間照明灯修繕工事などを行い、より快適にスポーツ活動を行える環境に整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心とした利用がありました。令和5年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、116,036人と令和4年度に比べやや増加となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R1	R2	R3	R4	R5	目標(R5)
社会体育施設利用者数 (町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)	120,133	84,010	97,346	102,198	116,036	135,000

(第2期総合戦略アクションプランK P I：令和6年度目標140,000人)

□課題・改善

第1グラウンドは、改修工事を実施して以降、グラウンド内は利用者が安全で快適に利用できています。しかし、敷地周辺を含め、樹木の伐採や除草など管理面での課題は多々あります。第2グラウンドも含め、今後は施設の計画的な修繕及び効率的なグラウンド整備を進めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,782,000	3,692,857			537,350	3,155,507

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕や工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園クラブハウストアノブ取替 62,370円 (請負業者：(株)モリ)
- ・スポーツ公園小便器フラッシュバルブ修繕 45,100円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・スポーツ公園スポーツトラクタ修理 135,850円 (請負業者：東興産業(株))
- ・スポーツ公園スポーツトラクタ消耗品取替 40,700円 (請負業者：東興産業(株))
- ・第2体育館屋外男子トイレ手洗器取替 60,500円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第2体育館屋外トイレ改修工事 386,100円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・スポーツ公園階段手摺設置工事 418,000円 (請負業者：播州道路施設(株)) 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 277,200円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・芝生管理委託料 693,000円 (請負業者：みやび造園)
- ・電気設備管理委託料 132,000円 (請負業者：黒正電気設備管理事業所)
- ・清掃委託料 (第2体育館) 60,500円 (請負業者：東洋テック姫路(株))
- ・トイレ清掃委託料 323,136円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・消防設備点検委託料 (第2体育館) 8,580円 (請負業者：神姫防災)
- ・スポーツ公園樹木等伐採委託業務 330,000円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・遊具等点検委託料 51,700円 (請負業者：吉田体機工業(株) 姫路営業所)
- ・スポーツトラクタ点検委託料 78,551円 (請負業者：東興産業(株))

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ソフトボール場は表土が風雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。施設全体の照明設備についても水銀灯を採用しているため、安定器の寿命も含め、LED化への検討もしていく必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,333,000	6,176,393			1,262,220	4,914,173

事業名/町民第3グラウンド管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	浄化センター周辺の修景施設を含めた公園利用	

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド(さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場)を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕や工事を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・ 第3グラウンド照明器具鳥獣防護ネット取付工事 246,400円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・ 第3グラウンド駐車場舗装改修工事 2,490,400円 (請負業者：(株)セイトー)
- ・ 第3グラウンド流し台設置用給排水工事 385,000円 (請負業者：高岡電工(株))

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・ 警備委託料 138,600円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・ 電気設備管理委託料 68,640円 (請負業者：黒正電気設備管理事務所)
- ・ 清掃委託料 286,000円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・ 消防設備点検委託料 19,800円 (請負業者：(株)消防装備)
- ・ スケート施設・遊具等点検委託料 185,900円 (請負業者：吉田体機工業(株) 姫路営業所)
- ・ スポーツレイキ点検委託料 60,005円 (請負業者：東興産業(株))

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの形成に貢献できました。

□課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えていますが、年長者のヘルメットの未着用が目立ちます。今後は、啓発・監視体制を検討し、安全で快適に利用できるように努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,652,000	5,416,022			1,335,110	4,080,912

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	1,132,000 ^円	1,051,160 ^円	80,840 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総◆取組内容	各団体への施設開放による支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	542	255	498	363	636	306	2,600
	使用人数(人)	5,353	3,276	11,837	11,065	5,055	5,506	42,092
	使用料(円)	78,260	22,160	77,550	276,690	84,460	98,630	637,750
グ ラ ウ ン ド	使用回数(回)	130	82	12	225	1	4	454
	使用人数(人)	3,345	1,850	1,550	5,830	300	940	13,815
	使用料(円)	2,200	0	7,700	148,500	0	0	158,400

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や各種団体のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

学校行事に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,132,000	1,051,160			796,150	255,010

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	46,905,000 円	45,020,565 円	1,884,435 円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策前の事業をめざし、さまざまな教室・講習会を開催しました。また、小学生向けの行事を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総◆ 取組内容	スポーツ施設の充実	
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総創◆ 取組内容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総◆ 取組内容	職員のスキルアップ（多様なニーズに対応）	

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。近年、世代性別問わず誰もが参加できるニュースポーツの需要が高まっており、カローリングや囲碁ボールの講習会を実施しました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、今後のスポーツ大会・教室等のプログラム向上について検討しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕や工事を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・ トレーニング室トレッドミル走行ベルト取替調整 197,450円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）
- ・ 第1体育館ガスセーフティーパネル設置 44,000円（請負業者：神崎郡ガス協会）
- ・ トレーニング室トレッドミル非常停止スイッチ交換 41,800円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）
- ・ 第1体育館誘導灯用LEDランプ取替 35,420円（請負業者：(株)消防装備）
- ・ 第1体育館ランニングマシン液晶パネル交換 801,900円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）
- ・ 第1体育館 更衣室エアコン設置工事 599,500円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・ 第1体育館テラス防鳥ネット取付・床改修工事 597,300円（請負業者：(株)モリ） 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・ 年末清掃委託料 343,090円（請負業者：(有)シー・エス・シー）
- ・ 自動ドア保守点検委託料 46,200円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株)）
- ・ 消防点検業務委託料 24,200円（請負業者：(株)消防装備）
- ・ トレーニング機器保守点検業務委託料 198,000円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）

*町民体育館利用人数

(単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
令和3年度	13,952	3,920	3,327	5,154	8,103	34,456
令和4年度	14,389	4,446	4,426	6,033	6,628	35,922
令和5年度	14,578	5,062	5,354	6,656	7,616	39,266

■ 各種大会・教室及び小学生対象の生活塾シリーズについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対

策前と同様にできる限り実施しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者
子どもスポーツフェスティバル	4/15	第3グラウンド	町内小学生以上	23人
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/6	第3グラウンド	誰でも可	29チーム
山菜ハイキング	5/20	鉢伏高原	誰でも可	25人
ヴィッセル神戸サッカー教室	5/20	浄化センター芝生広場	町内こども園児(年長)、小学生	47人
カヌー教室	6/25 8/11	野外活動センター	町内小学4～一般	9人 9人
アウトドア生活塾	7/23	野外活動センター	町内小学4～6年生	11人
ふれあいワンデー生活塾	7/29	野外活動センター	町内小学1～3年生、民生児童委員	24人 17人
ASハリマアルビオンサッカー教室	8/5	第3グラウンド	町内こども園児(年長)、小学生	27人
自治会親善ソフトボール大会	8/18～25	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	28チーム
地域職域親善ソフトボール大会	11/12	第1グラウンド	町内在住在勤者	6チーム
子ども遊びフェスティバル!	1/20	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	56人

■ スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	内容・対象	参加者
走って楽しく！スポーツ大好き講習会	7/2	第3グラウンド	小林祐梨子走り方教室 町内小学生	76人
健康セミナー	8月下旬	文化センター	健康体操コグニサイズ	中止
	11/11	体育館体育室	背骨コンディショニング	14人
カローリング大会	3/9	体育館球技室	町内小学生以下及び保護者	61人

■ 健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	14人	11人	12人
はじめての筋トレ教室	誰でも可	第2水曜日	9:30～11:00	延べ19人		
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:25	90人・87人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:30～11:45	24人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:30～11:45	23人		
インデアカクラブ	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	15人		
いきいきストレッチ教室	誰でも可	火曜日	13:30～14:30	21人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	9:30～11:00	44人		

□効果・達成度

各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策前の取組状況となるようできる限り実施しました。その他講習会や健康・スポーツ教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加でき、多くの方の健康維持増進に努めました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している事業を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等を検討していく必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,390,000	12,567,865	100,000	900,000	3,548,680	8,019,185

事業名／町民体育館施設補修事業

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館球技室の床面については、平成22年度に修繕工事（フローリング研磨・コートライン塗装）を実施して以降、平成28年度の第1体育館耐震化工事の際も改修しておらず、経年劣化により補修跡や小さな傷も目立つようになっていました。また、バレーボールの支柱基礎も変形しており、まっすぐネットが張れない状態でした。

安心安全に施設を利用できるよう球技室床の張替工事を実施し、利用者の健康増進・体力の向上・競技選手育成を図りました。

◆事業の成果

■ スポーツ振興くじ助成金を申請し、球技室床張替工事を実施しました。

・ 第1体育館球技室床張替工事 31,760,300円

(請負業者：(株)スポーツテクノ和広 神戸営業所)

・ 第1体育館球技室床張替工事監理業務委託 297,000円 (請負業者：橋本設計工房)

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
32,069,000	32,057,300			15,790,000	16,267,300

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び施設使用料等における経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■ スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

・ 福崎小学校へ 72,000円 ・ 田原小学校へ 72,000円 ・ 高岡小学校へ 43,000円

・八千種小学校へ 72,000円 ・福崎東中学校へ 43,200円 ・福崎西中学校へ 43,200円

■ スポーツクラブ連合に50,000円の補助金を交付しました。

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
446,000	395,400				395,400

IV 学識経験者の意見

1. 就学前の子育て支援事業

- ① 子どもがいる家庭へのアンケート調査が実施されて、支援事業計画の策定がなされるなど、ニーズに合った子育てサービスをしようとされている。
- ② 神崎郡病児病後児保育は、通常の園では難しい面もあるので、事業の重要性を感じる。
- ③ 保育環境の整備は、安全安心な保育実践のために必要である。
- ④ 園児置き去り防止のための安全装置の設置など、最近問題となっている送迎時の安全確保についても配慮されている。引き続きの充実を望む。
- ⑤ 子育て支援をしっかりとってられるように感じる。幼児と自然のふれあいは、以後の成長に有益な影響を与えると考えられるため、図書館や研修センターだけでなく、自然を満喫できる場所での実施も検討しても良いのではないかと。
- ⑥ 子育ては、まだまだ母親の負担度が高いので、父親、祖父母も含め、家族ぐるみの参加を呼びかければ、横のつながりが広がり、参加しやすい雰囲気ができそうに思う。
- ⑦ 現在の小中学生の保護者は、ほとんどゲーム・スマホ社会で育っている。だから、家庭で一緒にいても、会話があるようでないということが予想されるので、大人が子どもと向き合える時間を行政としても積極的に呼びかけるべき（学童や子ども教室に入る）で、その方が、子どもの健全な心の育ちを促せるかもしれないと思う。

2. 教育委員会関係事業

- ① 中播地区への各種大会への参加費の派遣費用支援から、小学生中学生が体育活動において活躍されていることが伺われる。一つ大きな大会での参加体験や他地域との子どもとの交流は、新しい価値を生み出すと思われる、心身ともに成長されることを願う。文化事業としては、合唱コンクール、理科・数学甲子園などへの参加と伺った。課題改善にもあげられているように、体育活動のみならず文化活動においても、多くの子どもたちがそのような経験ができるよう広げていただければと思う。
- ② すでにさまざまに取り組みされていると思うが、大きな派遣費用が必要とされないオンラインでもそのような他県、他の国との交流体験がさらに広がることも期待する。
- ③ 全国の自治体では、学校事故やいじめなど第三者委員会を立ち上げることが多くなってきている。福崎町においても予算の裏付けをしっかりと行い、関係機関・団体等との交流をもち、迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んで欲しい。
- ④ 国際教育推進事業として、外国人指導助手の任用で国際理解教育が展開され、生きた英語に触れ充実されている。福崎町内にも、今後、さらにさまざまな国からの留学

生が増えることが予想されるため、学びの交流の機会ができればよいと考える。

- ⑤ A L Tがいることが、当たり前になりすぎているのか、A L Tが日本語を習得しすぎているせいかわからないが、A L Tと職員、A L Tと子どもたちとの会話が少なく感じる。外国に繋がる保護者でA L Tと話せる言語の人なら、A L Tに学校と保護者の間に入って繋いでもらうことも必要かと思う。

3. 学校関係事業

- ① 自然学校では、さまざまな体験活動を通して、主体的な判断力、問題解決する力、生命への畏敬の念や共に生きる心を育む等、現代に生きる子どもたちに必要な力を継続して育てていることがすばらしい。働き方改革が進み、先生方の取り組みにも難しい点があるだろうと思われるが、福崎の教育として、ぜひ、その教育効果を明らかにし、先生方も子どもたちも、行事の計画、実施段階、リフレクション（振り返り）による成長をメタ認知し、達成感を持ち続けてほしいと願う。
- ② 自然学校推進事業にしっかり取り組んでいると思われる。自然学校は5日間実施しており、修学旅行よりも長い、児童にとっては小学校最大の行事となる。内容をさらに工夫をしていただき、自然学校の目的達成に向けて取り組むとともに、児童にとって思い出となる行事として欲しい。

4. 給食センター事業

- ① しっかり取り組まれていると思われる。さらに地産地消とフードロスの削減に努めて欲しい。

5. 社会教育事業

- ① 施設やイベント等かなり充実していると思われる。中学校の部活動の地域移行も踏まえ、さらに社会体育の基盤整備に努めて欲しい。

6. 芸術・文化事業

- ① 公民館のクラブ活動への参加の呼びかけを上期に加えて、受け入れ余裕があれば下期もしてもらえれば、途中で興味をもった人が入れると思う。
- ② セミナーの開催など様々なニーズに対応しているように思われる。引き続き、多様なニーズに応えるようにして欲しい。若手の芸術家等の発掘、育成に向けた機会を増やすようにすればさらに活性化するのではないか。
- ③ 文化広報誌（文化財関係を含む）は性格上仕方ないが、「福崎町文化」他は、さら

っと目を通すには難しく感じられる。興味関心のある人には適しているが、そうでない人に親しみをもつていただくために、文字数を減らす、文字サイズを大きく、イラストや写真を増やす等の工夫が必要かと思う。

7. 図書館事業

- ① 図書館貸し出し人数も着実に増加しており、図書館の役割をしっかりと担っていると思われる。今後さらに行事等を充実するとともに、町民の図書館運営への参加も視野に入れた行事を考えられてはどうか。
- ② 「図書館だより」の町内隣保回覧は有効である。

8. 文化財事業

- ① 山桃忌や柳田國男検定、企画展、柳田國男ふるさと賞など、柳田國男生誕の地としての福崎町を町内、町外に発信されていることがすばらしい。小さい子どもから、学生、年配の方まで、幅広い世代がその功績を再認識し、郷土の誇りの核として認知度を高められ、世界各国からの留学生や日本全国の人にも認知されるよう、各機関やさまざまなマスコミとの連携、SNSの活用等、妖怪ベンチなどを広く周知、誘客されるなどさらなる新しいアイデアを期待する。
- ② 引き続き今後も施設等の維持管理をしっかり行い、文化財の保存と活用に努めてほしい。

9. 社会体育事業

- ① 青少年野外活動センターの利用者も徐々に増えている。引き続き施設の充実に努めて欲しい。また、野外活動では事故が発生することが多いので、施設の安全管理と職員等の教育に一層の力を入れて欲しい。
- ② 令和6年8月17日開催の「ヒロシのソロキャンプトークショー」のチラシの裏面に町内キャンプ場の案内・問い合わせ先が示されていたのは、表面・裏面共に「行ってみようかな」という興味を高めるのに相乗効果があったと思う。
- ③ 令和8年度からの部活動地域移行の実施に向け、学校教育・社会教育の連携とともに、子ども会活動も見直していく時期が来ているように感じる。
- ④ 町民体育館では、利用者が安心安全に施設利用できるよう、補修、改修されている。また、スポーツクラブ活動の電気代を学校に支払われ、学校の経費負担が軽減されている。高齢者参加の各種教室や大会参加のさまざまな新しいノウハウが研究されているので、「ゆるスポーツ」(※1)など楽しんで健康に長生きできるよう、保健センタ

一や大学研究者など各種機関とも連携され、幅広い世代の心も身体も元気な、ウェルビーイング（※2）な町の健康づくりに貢献し続けてほしい。

令和6年11月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療未来大学教授 野本玲子

兵庫県立福崎高等学校校長 藤原良光

住民代表 川端久美子

※1 ゆるスポーツ

老若男女誰でも楽しめる新案競技で、運動が苦手な人も障がいや特性のある人も皆が楽しく参加できるようにルールが考えられている

※2 ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良好な状態、周囲の人々との関係の中で、思いやりや共感を通していきいきと活動している幸福な状態

V 參考資料

「志」をみんなで育む 福崎の教育

～ 仲間とともに 心に「灯」をともし 学校教育

町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育 ～

<努力目標>

1 就学前保育・教育の充実

- 1) 豊かな感性を育てる「環境づくり」「なかまづくり」に努める。
- 2) 個性を尊重し社会的自立の基礎づくりに努める。
- 3) 「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画（中間改訂版）」を推進する。
- 4) 保育業務支援システムの円滑な導入と効果的な活用に努める。
- 5) 安心安全な保育・教育に努め、虐待の早期発見・事故の適切な初期対応に努めるとともに、不審者侵入を含めた危機管理意識を高める。
- 6) 「こども基本法」の理念について理解を深める。（※ 学校教育と共通）

2 学校教育の充実

- 1) 「いのち」の教育
 - ① すべての命のかけがえのなさや畏敬の念を育む。
 - ② 不審者侵入を含めた危機管理意識の向上に努め、地域とともに防災教育・学校防災体制を充実する。
- 2) こころ豊かな人間性と自立する人づくり
 - ① 人格の完成をめざし、個性を尊重した取組に努める。
 - ② 日々の地道な実践の積み重ねを重視する。
 - ③ 学びを支える教育環境の充実と「生きる力」を育む環境づくりに努める。
- 3) 学力保障・進路保障
 - ① 「わかる授業」「教材研究」に努める。
 - ア) 引き続き、指導方法及び教具の活用を工夫する。（教員の指導力を高める）
 - イ) さらに学力向上委員会を機能させ、「福咲学力アップタイム」を充実する。
 - ウ) 通級指導をはじめ、個に応じた教育的指導に努める。
 - エ) 朝読書を工夫し、町立図書館と連携し読書意欲と読書習慣の定着を強化する。
 - オ) 「人生100年」に通じる生涯学習の基盤づくりを行う。
 - ② 「ふるさと 福崎」「我が母校」を愛する児童生徒を育む。
 - ③ ICT教育、外国語教育、道徳教育の充実に引き続き努める。
 - ④ 仲間づくりのなかで、夢や希望を大切にすゝる気持ちと意欲を醸成する。

4) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の構築及び合理的配慮の提供に努める。
- ② 校内の指導体制を確立し、組織的なインクルーシブ教育を推進する。
- ③ 児童生徒と保護者の「思い」「願い」に寄り添い、共通理解のもとに実践する。
- ④ 特別支援教育コーディネーターを中心に、校内研修や関係機関との連携を密にする。

5) 人間的なふれあいによる生徒指導

- ① いじめの未然防止の取組は、「特別の教科 道徳」を要として、全ての教育活動を通して充実を図る。
- ② 学級や学校で疎外されがちな子やくらしに課題がある児童生徒を中心にすえ、ひとりの「いたみ」や「つらさ」をみんなで共有・共感し、ともに明るい展望が持てる仲間づくりに努める。
- ③ 児童生徒の生育歴や家庭環境に配慮した理解に努める。また、児童生徒の多面性に留意した理解と生徒指導を行う。
- ④ 学校園のトラブル発生時、教育委員会は積極的に指導助言にあたる。
- ⑤ いじめ・不登校に対して、仲間や関係機関との連携・協力により課題解決に取り組む。
 - ア) いじめに対しては、積極的な認知により、早期発見・早期対応に努める。
 - イ) 不登校指導は、個々の児童生徒の状況を適切に把握し、個に応じた多様な支援を推進する。
 - ウ) それぞれの居場所づくりを工夫し、自己実現と社会的自立に努める。
 - エ) 定期的実施している校内の「教育相談」を形骸化しない。
 - オ) 児童生徒及び保護者の悩みや思いを親身に受け止められる学校風土を構築する。
- ⑥ 学校長のリーダーシップのもと、全教職員による共通理解のもと組織的な指導を行う。
- ⑦ 福崎町の不登校指導員、学習支援員、不登校担当者とも連携して指導にあたる。
- ⑧ SOSの出し方についての知識・技能を指導する。
- ⑨ 引き続き、校則の見直しに取り組み、協議・検討する。

6) 体験活動

- ① 充実感・達成感及び所属感や自己有用感を高める体験活動を重要視する。
- ② 感動・感激、実感・体感を与える活動にする。
- ③ 後伸びにつながる体験活動になるよう工夫する。

7) 人権教育

- ① 日々の学校生活のなかで、人権意識が尊重される人権文化の構築に努める。
- ② 生活面・学習面での配慮や支援を要する児童生徒への積極的な支援に努める。
- ③ 児童生徒、学校、校区、地域、町の実態に即し、現実に学ぶ姿勢の人権教育を行う。
- ④ ヤングケアラーと児童虐待の早期発見・早期対応に努める。
- ⑤ 情報モラル・セキュリティー意識の醸成に努めながら、情報活用能力を育成する。
- ⑥ 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的少数者など人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
- ⑦ 生命の尊厳を第一に、教育の主体性、中立性の堅持に留意する。
- ⑧ SDGsの視点を尊重した実践等、教職員自身の人権意識の向上に努める。

8) 食教育

- ① 生涯を通じた健全な食生活の基礎づくりとして、健康への関心、食文化の継承、自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力を育成する。
- ② 地元産の食材、「旬の食材」利用に努める。
- ③ 学校栄養教諭等による食教育の充実と安全・安心な学校給食の提供に努める。
- ④ 異物混入皆無の取組を継続する。
- ⑤ 給食の残飯量を減らす取組を継続する。

9) 放課後児童クラブ（学童保育園、放課後子ども教室）

- ① 学童保育園内の環境整備と改善に留意し、安全確保に努める。
- ② 保護者との情報交換等の連携に努め、健全育成に努める。
- ③ 学校、学童保育園、保護者の引き渡しを確実にを行う。
- ④ 定期的な学童保育園長会等により、園長と指導員の資質能力の向上に努める。

10) 業務改善

- ① 町教育委員会規則および兵庫県「教職員の勤務時間適正化プラン」に基づき、継続して推進に努める。
- ② 校務支援ソフトの活用や関係機関と連携し、校務の効率化に努める。
- ③ 教職員の「変形労働時間制」の効果的運用を検討する。
- ④ 主幹教諭等のミドルリーダーの育成に努めるなど、教職員の指導力と組織力を高める。
- ⑤ 業務改善の名のもと、児童生徒や保護者への関わりを疎にしない。
- ⑥ 教育の「不易と流行」の「不易」の継承にも努める。

3 家庭の教育力

1) 各校の実態に応じた家庭教育学級（小学校・中学校）

- ① 子育てについて、保護者の「願い」「思い」や今日的に学ぶ必要のある課題に対応した研修会及び講演会の内容を工夫し、家庭の教育力の向上と子育て支援に努める。
- ② 家庭へ積極的に情報を提供し、学校と子育て情報や課題を共有し連携して取り組む。

2) 家庭教育の重要性についての継続した啓発

3) PTA活動を活性化するため、組織の再編・活動内容等の工夫

4 社会教育・地域の教育力

1) 青少年の健全育成

- ① 研修会、講演会等により地域住民の青少年健全育成意識や協力体制を醸成する。
- ② 啓発リーフレットや広報車等を活用した啓発活動により、「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりや犯罪への抑止力に継続して取り組む。
- ③ 地域内の関係団体や関係機関との連携に努める。

2) 地域住民の幅広い参画

- ① 青少年補導委員会、防犯指導委員会、消防団及びPTCA活動等と連携する。
- ② 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動及び各委員会相互の連携を図る。

3) 学校支援地域本部事業

- ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を「学校教育」に活かす取組を進める。

- ② 学校支援者が自らの「生き方」につながる活動を創造する。
- 4) 部活動の地域移行（地域部活動）ための協議会等の発足
- 5) コミュニティースクールの導入についての研修と検討
- 6) 各種の学校関係機関や団体との「相互連携制度」の研修と検討

5 社会教育・生涯学習

- 1) 郷土への愛着と誇りをもつ児童生徒の育成
 - ① 二人の名誉町民（柳田國男先生・吉識雅夫先生）の顕彰を継続する。
 - ② 地域の歴史や文化をテーマに、「柳田國男ふるさと賞」を継続する。引き続き、氏の功績や郷土の歴史に誇りを持つ取組に努める。
 - ③ 柳田國男先生ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業を継続する。
 - ④ 「ふるさと学習」の指導に対するカリキュラムづくりを検討する。
 - ⑤ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学・理数分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、「吉識雅夫科学賞」を継続する。また、広く町民に向けての顕彰を一步進め、氏の業績のさらなる発信に努める
- 2) 文化・芸術活動（図書館、エルデホール）
 - ① 図書館は、住民の自主的な学習拠点として、蔵書を充実させ、快適で安全な利用しやすい図書館運営に努める。
 - ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）」を推進する。
 - ③ 町内小中学生に配布している「読書ノート」を効果的に活用し、読書への関心を高め、読書する環境づくりに努める。また、図書館来館のきっかけづくりを継続して取り組む。
 - ④ 図書館応援隊を支援し、ともに特色ある図書館活動に努める。
 - ⑤ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを継続して取り組む。
 - ⑥ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用による図書館利用を推進する。
 - ⑦ エルデホールの自主事業は、引き続きテーマに分けて実施する。より多くの方に自主事業に来場していただけるよう情報発信を工夫する。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりを工夫する。
- 3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こし・保存・活用
 - ① 地域の歴史文化遺産及びその周囲を含め総合的に把握し活用するため、福崎町文化財保存活用地域計画を推進する。
 - ② 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史文化遺産の掘り起こしに継続して努める。
- 4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館
 - ① 文化ゾーンの軸として、文化財の保存・活用を推進する。
 - ② 柳田國男・松岡家記念館では、松岡五兄弟の顕彰に努める。
 - ③ 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。
 - ④ 「特別展」「企画展」を引き続き工夫して開催する。
 - ⑤ 10回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を実施する。
 - ⑥ 第44回山桃忌は、8月5日（土）と8月6日（日）に開催する。

- ⑦ 多くの人々が、「民俗学」を身近なものとして捉えられるよう工夫する。
- ⑧ 大庄屋三木家住宅では資料整理・展示・公開等を継続的に実施する。
- ⑨ 三木家資料収蔵のための収蔵施設兼展示場の効果的な活用を工夫する。
- ⑩ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され、多くの人から親しまれる施設となるよう工夫して取り組む。
- ⑪ 「連続講座」や広報活動を工夫し、住民の埋蔵文化財への関心を広く醸成する。

5) スポーツ・レクリエーション活動

- ① 社会体育、野外活動などの環境づくりを推進する。
- ② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体との連携・発展に努める。
- ③ 総合型地域スポーツクラブと連携する。
- ④ 町民の体力向上に引き続き工夫して取り組む。
- ⑤ 青少年野外活動センターの環境整備と広報活動を工夫し、利用促進に取り組む。

6) 公民館活動

- ① 参加しやすく魅力ある活動にするよう運営を工夫する。
- ② 学習や活動を通じて、人と人との交流を深め、生きがいを高める活動にする。
- ③ 学習成果を地域にいかす取組となるよう工夫する。
- ④ 多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容のさらなる充実に努める。
- ⑤ 若年世代の参加を図るため工夫する。
- ⑥ 老人大学のさらなる充実に努める（特に、新設した学部の効果的な運営に努める）。

7) 人権に関する学習

- ① 一人ひとりの人権が尊重され、心と心が豊かにつながる「地域づくり」に努める。
- ② 自治会研修会の工夫と活性化に引き続き努める。
- ③ 男女共同参画基本計画に基づき、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。

6 教育委員会制度

- 1) 「開かれた教育委員会」に努める。
- 2) 「総合教育会議」等で町長部局との連携を強め、よりよい教育行政に努める。
- 3) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的・臨時的に所属長との面談や施設等の現場視察に努める。
- 4) 会議録の表記法等を分かりやすくするよう引き続き工夫する。
- 5) 各種の取組において、先進地の視察など教育委員の研鑽・研修に努める。
- 6) 兵庫県教育委員会と連携を取りながら、必要に応じて要望・要求活動を行う。
- 7) 定例の教育委員会のより効果的なあり方を工夫する。
- 8) 定例の校長会、教頭会、園長会、学童園長会をより活性化し機能させる。
- 9) 神崎郡教育委員会連絡協議会とのさらなる連携と情報交換に努める。
- 10) 福崎町内すべての子ども・職員・教職員が元気に生活できるよう教育環境づくりに努める。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。
- 3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

- 2 委員会は、教育長が招集する。
- 3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。